

# MOVADO

使用説明  
保証&アフターサービスガイド

# 目次

	ページ
ブランドについて	3
取扱い上のご注意とメンテナンス	4
使用説明	
① 標準2針モデルと3針モデル - クォーツと自動巻 (1881自動巻女性用とほとんどの Movado Museum Dial (モバード ミュージアム ダイアル) ウォッチを含む)	7
② 標準的な3針/日付および3針曜日/日付のモデル - クォーツと自動巻 (Datron (ダトロン)、SE、一部の Series 800 (シリーズ 800)、Vizio PEEK (ビジオ ピーク) クォーツ ウォッチ、 1881自動巻男性用、Red Label (レッド ラベル)、Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー) 自動巻を含む)	8
③ クォーツワールドタイム モデルGMTクイック時刻変更機能 (Series 800 Worldtime (シリーズ800ワールドタイム) と BOLD (ボールド))	9
④ クォーツ ワールドタイム モデルGMTとスモールセコンド ダイアル付き Heritage Military (ヘリテージ ミリタリー) シリーズを含む	10
⑤ 自動2針モデルと3針モデル 回転式日付表示 (Movado Red Label Calendomatic (モバード レッドラベル カレンドマチック) とスモールセコンド針付き Red Label Calendomatic (レッドラベル カレンドマチック) を含む)	11
⑥ クォーツ万年カレンダー (SE Pilot ETA レトログラードを含む)	12
⑦ クォーツ クロノグラフ1/1秒 - タイプA (43.5 mm Movado BOLD (モバード ボールド) とSeries 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー) クォーツクロノグラフを含む)	14
⑧ クォーツ クロノグラフ 1/1秒 - タイプB (Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー) レトログラードと Verto (ヴェルト) レトログラード クロノグラフを含む)	17
⑨ クォーツ クロノグラフ1/5秒 - タイプA (Series 800 (シリーズ 800) レディース クロノグラフ モデルと34 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む)	19
⑩ クォーツ クロノグラフ1/5秒 - タイプB (40 mm Movado BOLD Luxe (モバード ボールド ラックス) と一部の38 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む)	21
⑪ クォーツ クロノグラフ 1/10秒 - タイプA (Movado Junior Sport (モバード ジュニア スポーツ)クォーツ クロノグラフを含む)	23
⑫ クォーツ クロノグラフ1/10秒 - タイプB (オリジナル Series 800 Sport (シリーズ 800 スポーツ) とSport Elegant (スポーツ エレガント) および一部のVizio (ビジオ) クォーツ クロノグラフを含む)	25
⑬ クォーツ クロノグラフ1/10秒 - タイプC (Cerena (セレナ)、Datron (デイトロン)、Movado BOLD Titanium (モバード ボールド タイタニアン) XL、 新型 Movado Circa (モバード サーク)、Movado Edge (モバード エッジ)、Movado Parlee (モバード パーリー) クォーツ、Movado TC (モバード TC (Thin Classic、シン クラシック)、 Museum Sport (ミュージアム スポーツ)、Sapphire Synergy (サファイア シナジー)、SE Pilot (パイロット) と Strato (ストラト) クォーツ クロノグラフを含む)	27
⑭ クォーツ クロノグラフ1/10秒 - タイプD (Verto (ヴェルト) と一部の38 mm Movado BOLD(モバード ボールド) クォーツ クロノグラフを含む)	30

# 目次

	ページ
⑮ アナログ/デジタルクロノグラフ1/100秒 (Movado Dura (モバード デュラ) アナログ-デジタル クォーツ クロノグラフを含む)	32
⑯ クォーツ クロノグラフ1/1秒 – タイプA (オリジナル Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Master (モバード マスター)、 Vizio (ビジオ) 自動巻クロノグラフを含む)	36
⑰ 自動巻クロノグラフ1/1秒 – タイプB (新しいSE自動巻クロノグラフを含む)	39
⑱ 自動巻クロノグラフ1/1秒 – タイプC (新型 Datron (デイトロン) 自動巻クロノグラフを含む)	41
⑲ クォーツ クロノグラフ1/1秒 – タイプD (SE Extreme (SE エクストリーム) と限定版 Movado Parlee (モバード パーリー) 自動巻クロノグラフを含む)	43
⑳ 自動3針モデル回転式24時間ユニバーサルタイム表示付き (Movado Red Label Calendomatic (モバード レッドラベル カレンドマチック) ユニバーサルタイム モデル)	45
㉑ 自動2針モデル ムーンフェイズディスクと日付表示付き (Movado Red Label Planisphere (モバード レッドラベル プラニスフィア) を含む)	46
㉒ 自動2針モデル ムーンフェイズ窓と日付表示付き (Movado Red Label Skymap (モバード レッドラベル スカイマップ) を含む)	48
㉓ デジタル LED タッチスクリーン モデル デュアルタイムゾーンと月/日付表示付き (Movado BOLD Touch(モバード ボールド タッチ) モデルを含む)	49
㉔ デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル (Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ 2) モデルを含む)	51
㉕ クォーツ クロノグラフ1/1秒 – タイプC (Movado Heritage Series Calendoplan (モバード ヘリテッジ シリーズ カレンドプラン) クロノグラフ モデルを含む)	56
㉖ クォーツ3針 ムーンフェイズ/曜日/日付モデル – タイプA (Movado Heritage Series Celestograf (モバード ヘリテッジ シリーズ セレストグラフ)42mm モデルを含む)	59
㉗ クォーツ3針 ムーンフェイズ/曜日/日付モデル – タイプB (Movado Heritage Series Celestograf (モバード ヘリテッジ シリーズ セレストグラフ) 36mm モデルを含む)	61
㉘ メカトロニック多機能クロノグラフ (Vizio (ビジオ) 多機能クロノグラフ モデルを含む)	62
<b>特徴</b>	
① 回転ベゼル	66
② ねじ込み式リューズ	67
③ 回転反射リング	68
④ 交換可能なストラップ	69
<b>アフターサービス</b>	
保証について	71
モバード正規サービスセンター	72

# MOVADO

モダンなデザインで知られるスイスの一流時計ブランド、モバードは、1881年の誕生以来100件を超える特許を取得しており、その優れた芸術性と革新性に対してこれまでに受賞した国際的な賞は200を超えています。これはモバードの、特にMovado Museum® Watch (モバード ミュージアムウォッチ)をはじめとする数々の有名なタイムピースの品質の高さを証明するものです。

1947年に、芸術家ネイサン・ジョージ・ホーウィットによりデザインされ、今日モダニズムの象徴とも言われるこのミュージアム ウォッチの文字盤は12時位置に配した一つのドットが正午の太陽をシンボリックに表現しており、時計の歴史上、他に類のない純粋なデザインとして賞賛されています。

のすべてのモバード腕時計の特徴は、革新の伝統と時間の未来にかける情熱が宿っていることです。お買い上げありがとうございました。

## 取扱い上のご注意とメンテナンス

すべての精密機械と同様、モバードの時計も優れた性能を保つために定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンスには、分解及び組み立て、クリーニング、部品の交換、および注油が含まれます。必要に応じた電池の交換に加えて、3年から5年の間隔でメンテナンスをお奨めします。

ご自分では絶対に時計のケース裏蓋を開けないでください。時計の修理または調整が必要な場合は、直接モバード正規サービスセンターまで時計をお持ちいただくか、郵送してください。世界各国の正規サービスセンターのリストは、弊社オンラインサイト[www.movado.com](http://www.movado.com)でご覧いただけます。

ご注意:モバード ウォッチ カンパニーは、正規サービスセンターで行われた修理についてのみ責任を負うものとします。

### 衝撃

モバードの時計は耐衝撃性ムーブメントを採用、国際規格に基づく全数検査に合格しています。

### 埃(ほこり)

時計ケース、クリスタル、あるいはリュースが損なわれていると、時計内部に埃(ほこり)が入る可能性があります。小さな粒子でもムーブメントを停止させるのに十分です。クリスタルがゆるんでいたり、欠けていたり、ひびが入っていたり、ケースやリュースが傷んでいたりする場合は、早急に、修理をご依頼ください。

### 磁気

時計を強い磁場にさらすと、計時機能に影響を及ぼし、時計が止まる原因となります。クォーツ時計は、磁場から解放されると本来の精度で再び作動し始めますが、機械式時計は、再び作動する前に消磁が必要となります。

### 防水機能

モバードの時計はすべて、国際規格による防水検査に合格しています。

ほとんどのスタイルは、30メートル(3気圧/3ATM/99フィート)の防水機能を備えており、特定のモデルは、文字盤またはケースの裏面に記されたとおりに、さらに高度の気圧と深い水深までの防水機能を備えています。

ご注意:防水機能の限度が時計に表示されていない場合は、3気圧(30メートル/3ATM/99フィート)を超える圧力/水深での使用は避けてください。時計が損傷を受ける可能性があります。この場合保証は無効になります。

重要:時計が濡れている時や水中では、リュース、プッシュボタン(クロノグラフ モデルの場合)、その他のプッシャー/ボタンを操作しないでください。

ご注意:モバード ウォッチ カンパニーは、不適切な扱いや、ケース、リュース、防水パッキン、クリスタルの破損による浸水が原因で、またはこれに関連して生じた損傷については一切責任を負いません。

防水機能を保つためには年に1度のメンテナンスが必要です。ケースを密閉する防水パッキンとリュースは、通常の使用条件下において磨耗・破損の対象となります。これらのパーツは、電池の交換などサービスの目的で時計を開けるたびに点検し、必要に応じて交換する必要があります。

## 取扱い上の注意とメンテナンス

モバードの正規サービスセンターでは、すべてのアフターサービスのご依頼について、必ず規定点検としてお客様の時計の防水機能を点検いたします。

その他のご注意：

ねじ込み式リューズまたはプッシャーを備えている時計の場合、これら进行操作した後に必ず、ケース内にしっかりとねじ込んで/押し込んでください。

防水機能は時計ケースにのみ適用されます。一部のストラップは水中で使用したり濡らしたりしないようご注意ください。「ストラップのお手入れ」の項を参照してください。

時計を急激な温度変化にさらすことは避けてください。

時計を固い床などに落としたり硬い表面にぶついたりしないでください。時計が激しい衝撃を受けた場合はその都度防水機能を点検する必要があります。

特に海水に触れた後など、定期的に真水で湿らせた柔らかい布で時計を拭いてください。

### ストラップのお手入れ

時計ストラップの寿命は、お手入れの仕方や着け方、生活環境の気候などによって異なります。適切なお手入れにより、寿命がより長くなります。

レザーストラップは濡らさないようご注意ください。レザーストラップは、水に濡らすと脆くなって破れることもあります。レザーの仕上げが長持ちするように、香水との接触はできるだけ避けてください。塩素処理された水や塩水に触れた場合は、軽く真水で湿らせて汚れを拭き取ってから乾燥させてください。

Series 800 (シリーズ800)のThermoResin™ またはXTremeResin™ ストラップの自然なしなやかさと品質を保つため、塩水、化学薬品、磨耗物質などに触れた場合は、真水に浸した柔らかい布を使って洗ってください。

Series 800 (シリーズ800)のThermoResilient™ ホワイトストラップとMovado Masterのホワイト ラバーストラップは、柔らかい布に中性石鹸を溶かしたぬるま湯を含ませて、軽くこすりながら汚れを落としてください。その後、もう一枚の清潔な布をぬるま湯で湿らせて拭くか、温かい流水で丁寧にすすいでください。アセトンやエチルアルコールとの接触は避けてください。

Movado BOLD (モバード ボールド) のコーティング ホワイトレザーストラップや、ホワイトTR90/シリコン ブレスレットに付着した汚れの大部分は、天然ゴムラバー、または“rubber cement pick-up (ゴムセメント除去材)” (画材店などにあります) で取り除くことができます。ストラップ/ブレスレットがきれいになるまで、天然ゴムラバーを使って、汚れた表面をやさしくこすってください。

Movado BOLD (モバード ボールド) のホワイトストラップ、またはブレスレットにしみこんだ汚れには、ザイモール液体レザークリーナーやコロンプス ジェル スーパークリーナーなどの有機溶剤、インキ抜きローラー (エチルアルコールとプロピレンによるインク除去剤)、またはピュレル抗菌ハンドジェル (エチルアルコールの比率62%) のようなエチルアルコールをベースとした溶剤がお使いいただけます。湿らせたやわらかい布で汚れた部分を拭きます。次に、丸めたコットン、または白い清潔なやわらかい布に溶剤をしみこませ、汚れた箇所をやさしくこすります。これを2、3度繰り返して、汚れを完全に落としてください。溶剤はブレスレット/ストラップの内側でまず色落ちがないか試してから、表面にお使いください。

## 取扱い上のご注意とメンテナンス

ご注意:モバードの保証は、モバードの時計ストラップには適用されません。

### 電池について

モバードのクォーツ時計は、時計用の1.55V酸化銀電池を使用しており、電池の寿命は正常な使用でおよそ18～36ヶ月です。

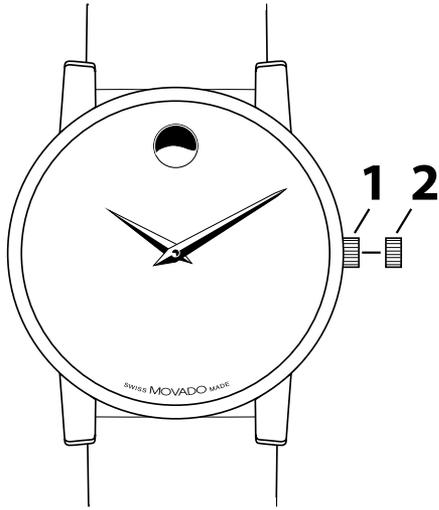
ご注意:クロノグラフモデルのストップウォッチ機能など、特殊機能を頻繁に使用すると電池の寿命が短くなります。

電池切れ予告機能:多くのモデルでは、電池消耗が近づくと秒針が4秒運針になり、電池を交換する必要があることを知らせます。

電池の交換:モバードが推奨する交換用電池のみをご使用ください。電池の交換には、正規サービスセンターまで時計をお持ちいただくか、郵送してください。使用済み電池は適切な方法で処分/リサイクルいたします。ご自分で電池を交換することは避けてください。

## ① 標準2針モデルと3針モデル クォーツと自動巻

1881自動巻女性用とほとんどのMovado Museum Dial (モバードミュージアムダイアル) ウォッチを含む



図A

### リューズの位置:

ポジション1 – 通常の作動位置。  
ケースに押し込んだ状態。

ポジション2 – 時刻合わせ:  
リューズをどちらかの方向に回転。

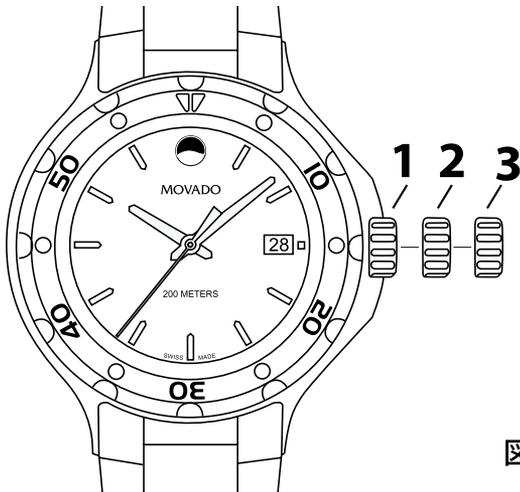
### 自動巻ムーブメントを手動で巻き上げるには:

自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。しかしながら、時計を38時間以上着用せず、ムーブメントが停止した場合は、時刻合わせを行う前に、手動でこれを巻き上げる必要があります:

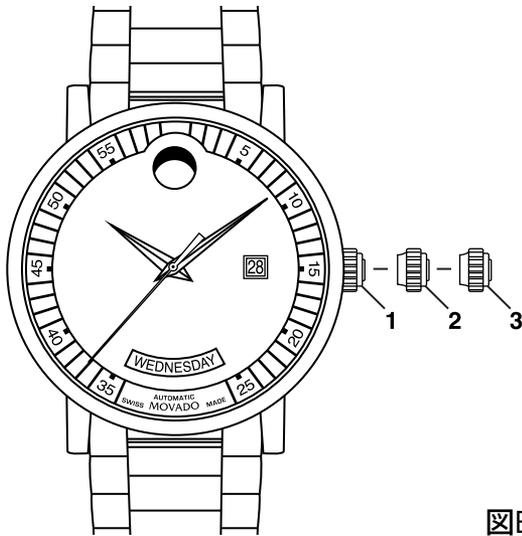
1. ポジション1でリューズを時計回りに約20回回します。
2. 上記の指示に従って時刻を合わせます。

## ② 標準3針 曜日/日付表示モデル クォーツ&自動巻

Datron (ダトロン)、SE、一部の Series 800 (シリーズ 800)、Vizio PEEK (ビジョ ピーク) クォーツ ウォッチ、1881 自動巻男性用、Red Label (レッド ラベル)、Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー) 自動巻を含む



図A



図B

### リューズの位置:

ポジション1 – 通常の作動位置。

ケースに押し込んだ状態。

ポジション2 – 日付合わせ\*:

リューズを時計回りに回す。

曜日合わせ\*:

リューズを反時計回りに回す。

ポジション3 – 時刻合わせ\*:

リューズをどちらかの方向に回す。

\*重要: Vizio PEEK (ビジョ ピーク) で自動日付変更中は午後9時30分から午前3時の間に日付を設定しないでください。この間に設定すると、メカニズムが損傷する可能性があります。

\*ご注意: お買い上げいただいた時計がねじ込み式リューズを備えている場合、日付(日付/曜日)または時刻合わせを行う前に、まずリューズを反時計回りに約6回まわしてロックを解除する必要があります。時刻/日付(日付/曜日)合わせを行ったら、防水機能を確保するため、リューズを必ずケースにしっかりとねじ込んでください。

### 自動巻ムーブメントを手動で巻き上げるには:

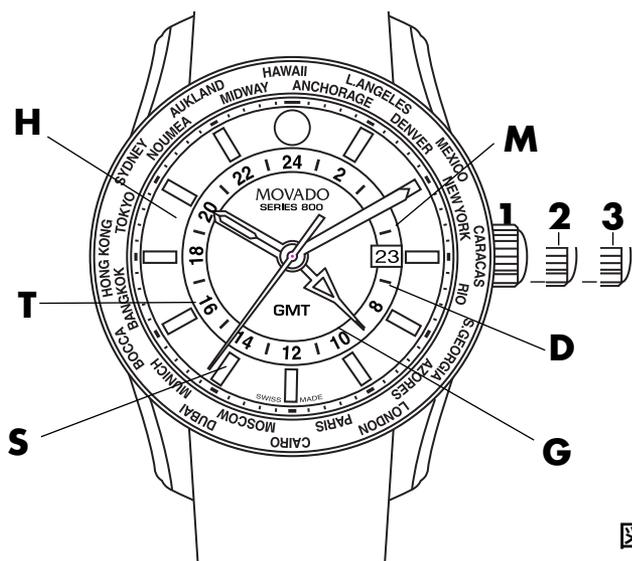
自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。しかしながら、時計を38時間以上着用せず、ムーブメントが停止した場合は、時刻合わせを行う前に、手動でこれを巻き上げる必要があります。

1. ポジション1でリューズを時計回りに約20回回します。
2. 上記の指示に従って時刻を合わせます。

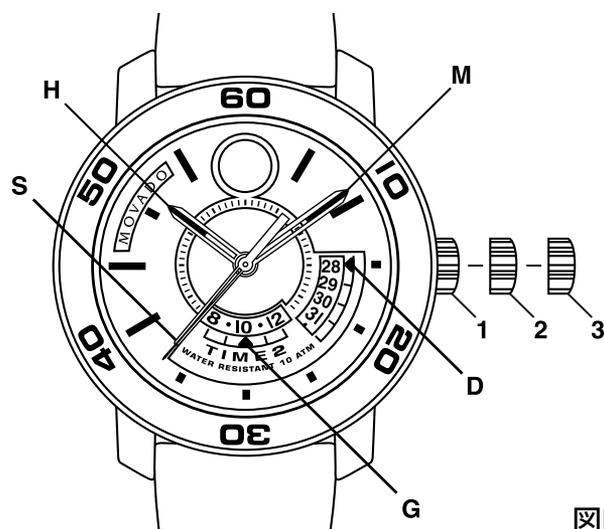
### ③ クオーツワールドタイム モデル

#### GMTクイック時刻変更機能

Series 800 Worldtime (シリーズ800ワールドタイム)とBOLD (ボールド) GMT モデルを含む



図A



図B

#### 説明:

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

G - GMT 針/インジケーター

D - 日付表示窓

T - 24時間形式ユニバーサルタイム スケール

#### リューズの位置:

ポジション1 - 通常の作動の位置。リューズをケースに押し込んだ状態。

ポジション2 - 日付とGMT針のクイック調整:

リューズを時計回りに回して日付Dを変更します。リューズを左回りに回して中央に付いた GMT 針 G を24時間スケール T の周りで動かすか、GMT インジケーターサブダイヤルで24時間ディスクを回転させます。

ポジション3 - 時刻合わせ。

これらのモデルは、クイック時刻変更機能を備えた精密なスイス製クオーツワールドタイムムーブメントを使用しています。現地時間は時針H、分針M、スモールセコンド針Sで示され、GMT針/インジケーターGが2番目のタイムゾーンの24時間形式の現在時刻を示します。一部のモデルでは、2番目のグローバルタイムゾーンは24時間スケールTで示されます。タイムゾーンは、希望するタイムゾーンの都市が12時に来るまで世界の主要都市の名前が刻まれた一方向動作の回転ベゼルを回して選択します。すべてのモデルで、GMT針/インジケーターGはリューズを使って合わせます。

#### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計は停止します。
2. リューズをいずれかの方向に回して希望する時間に針を合わせます。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

#### 日付のクイック調整:

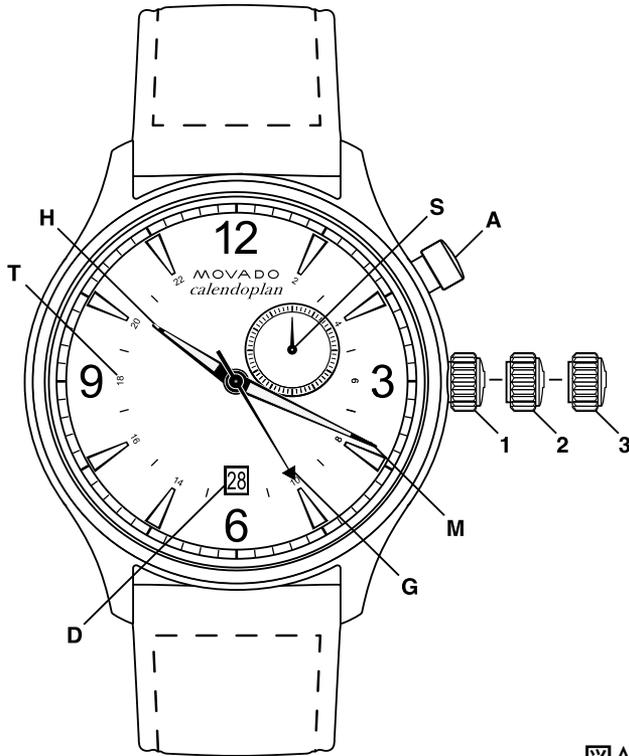
1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. 正しい日付が日付ウィンドウDに表示されるかサブダイヤルDに示されるまで、リューズを右回りに回します。
3. リューズを1の位置に引き出します。

#### ワールドタイムGMT針を合わせるには:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. 先端が矢印になっているGMT針Gが24時間スケールTの希望する2番目のタイムゾーンで正しい現在時刻を示すか、GMTサブダイヤルGで希望する2番目のタイムゾーンに現在の24時間形式の時刻が示されるまで、リューズを左回りに回します。
3. リューズを1の位置に引き出します。

## ④クオーツワールドタイムモデル GMTとスモールセコンドダイヤル付き

Heritage Military (ヘリテージ ミリタリー) シリーズを含む



### 説明:

H - 時間針

M - 分針

S - 秒針

G - GMT針/インジケーター

D - 日付ウィンドウ

T - 24時間Universal Timeスケール

A - 24時間プッシュボタン

### リューズの位置:

1の位置 - 作動中の通常の状態。リューズをケースに押し込んだ状態。

### 2の位置 - 日付とGMT針の調整:

リューズを右回りに回して日付Dを変更します。

希望する時間が表示されるまでプッシュボタンAを押します。

### 3の位置 - 時刻合わせ。

### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズをいずれかの方向に回して正しい時間に針を合わせます。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

### 日付の調整:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. 正しい日付が日付ウィンドウDに表示されるかサブダイヤルDに示されるまで、リューズを右回りに回します。
3. リューズを1の位置に押し戻します。

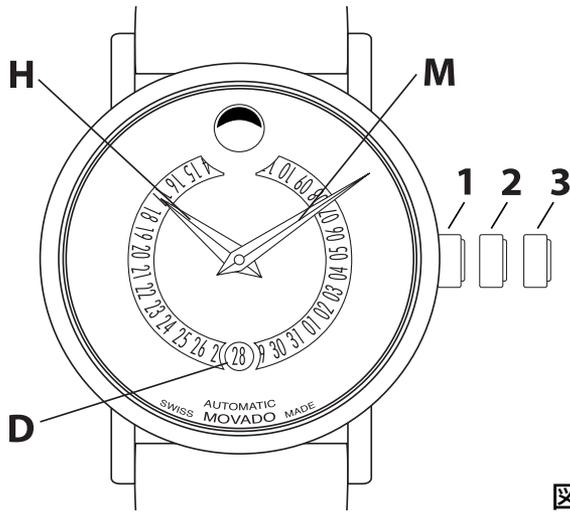
図A

### ワールドタイムGMT表示の設定:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. 希望する時間が表示されるまでプッシャーAを押します。
3. リューズを1の位置に押し戻します。

## ⑤ 自動2針&3針モデル 回転式日付表示

Movado Red Label Calendomatic (モバード レッドラベル カレンドマチック) とスモールセコンド針付き  
Red Label Calendomatic (レッドラベル カレンドマチック) を含む



### リューズの位置:

ポジション1 – 通常の作動/手巻きの位置。

リューズをケースに押し込んだ状態。

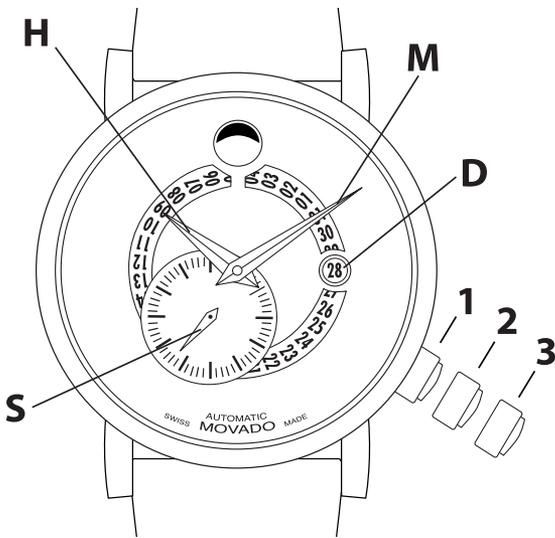
ポジション2 – クイック日付合わせ。

ポジション3 – 時刻合わせ。

### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計 (図Bのスモールセコンド針S) は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。ハイライトされた日付が正午ではなく深夜零時になることを確認してください。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

図A



### 日付のクイック調整:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. 日付ハイライターDの下に正しい日付が表示されるまで、リューズを時計回りに回します。
3. リューズを1の位置に引き出します。

### 自動巻ムーブメントを手動で巻き上げるには:

モバード自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、時計を38時間以上着用せず、ムーブメントが停止した場合は、時刻合わせを行う前に、手動でこれを巻き上げる必要があります。

1. 1の位置でリューズを時計回りに20回ほど回します。
2. 上記の説明に従って時刻を合わせます。

図B

### 説明:

H – 時針

M – 分針

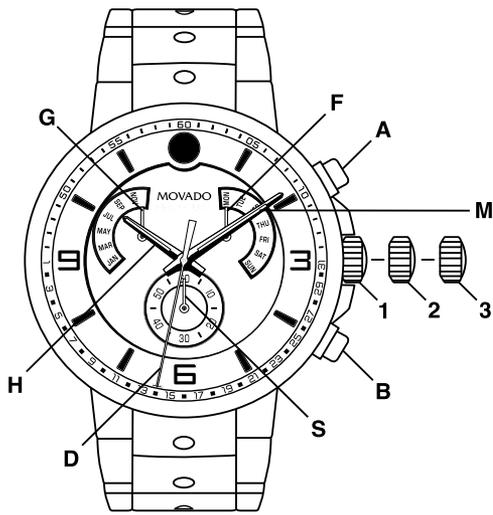
S – スモールセコンド針

D – 日付

1, 2, 3 – リューズの位置

## ⑥ クォーツ万年カレンダー

SE Pilot ETA レトログレードを含む



### 説明:

- H - 時間針
- M - 分針
- S - 秒針
- D - 日付針
- G - 日付針
- F - 曜日針
- A - プッシュボタン
- B - プッシュボタン

### リューズの位置:

- 1の位置 - 作動中の通常の位置。リューズをケースに押し込んだ状態。
- 2の位置 - 針を元の位置にリセットします。
- 3の位置 - ストップセコンド機能で時刻を合わせ、深夜0時になったときに日付を調整する位置。

### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して、希望する時刻に合わせます。
3. 時間が同期したら、リューズを1の位置に押し戻します。

### 年を設定するには:

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを一度押します。
3. 現在の年 (1-4) が表示されるまでプッシュボタンBを押します。

図A

年 1	年 2	年 3	年 4 うるう年
2013	2014	2015	2016
2017	2018	2019	2020
2021	2022	2023	2024
2025	2026	2027	2028
2029	2030	2031	2032

### 月を設定するには:

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを2回押します。
3. 希望する月が表示されるまでプッシュボタンBを押します。

### 日付合わせ:

1. リューズを 3 の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを3回押します。
3. 希望する日付が表示されるまでプッシュボタンBを押します。

### 曜日合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを4回押します。
3. 希望する曜日が表示されるまでプッシュボタンBを押します。

## ⑥ クォーツ万年カレンダー

SE Pilot ETA レトログレードを含む

### 表示針のリセット

曜日表示針、月表示針、日付表示針をリセットする必要があることがあります。

表示針は、リューズを2の位置にしてリセットします。

### 日付の調整:

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを一度押します。
3. 表示針が1を示すまでプッシュボタンBを押します。

### 曜日の調整:

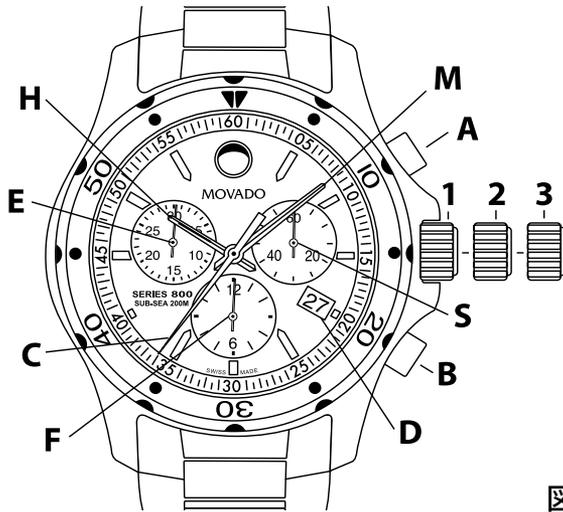
1. リューズを2の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを2回押します。
3. 表示針が月曜日 (MON) を示すまでプッシュボタンBを押します。

### 月の調整:

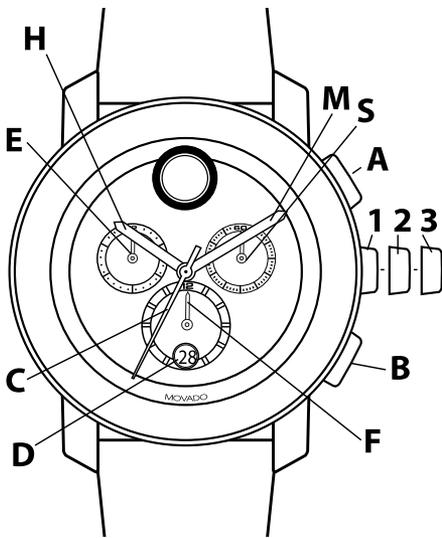
1. リューズを2の位置に引き出します。
2. プッシュボタンAを3回押します。
3. 表示針が1月 (JAN) を示すまでプッシュボタンBを押します。

## ⑦クオーツクロノグラフ 1/1秒 - タイプA

43.5 mm Movado BOLD (モバード ボールド) と Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー)  
クオーツクロノグラフを含む



図A



図B

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- S - スモールセコンド針
- C - クロノグラフ60秒計
- E - クロノグラフ30分計
- F - クロノグラフ12時間計
- D - 日付表示窓
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン (スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/リセット)

これらのクロノグラフモデルは、分カウンター (30分)、時カウンター、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示窓またはビッグデイト表示を備えています。1秒単位で、連続して最高12時間までの計時が可能です。

### 時刻/日付合わせ

#### 時刻合わせ:

1. 込み式リューズのロックを解除します (この機能が付いたモデルの場合)。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。
2. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
3. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。
4. 操作を終えたらリューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。
5. ねじ込み式リューズを備えたモデルの場合は、リューズをケースにねじ込みます。

#### 秒を正確に合わせるには:

1. ねじ込み式リューズを備えたモデルの場合は、リューズのロックを解除します。
2. スモールセコンド針 (S) が <<60>> の位置に達すると同時にリューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
3. リューズを回して針を正確な時刻にセットします。このとき、日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
4. 針を正確な時刻よりほんの少し先に移動し、リューズを反時計回りにゆっくりと回して分針を正しい分インデックスに合わせます。
5. 正確な時報 (ラジオのニュース局の時報など) を利用します。時報で正確な時刻が鳴った瞬間に、リューズをポジション1に押し戻します。これで時計は正確な時刻にセットされ、再び動き始めます。
6. ねじ込み式リューズを備えたモデルの場合は、リューズをケースにねじ込みます。

## ⑦クオーツクロノグラフ

### 1/1秒 - タイプA

43.5 mm Movado BOLD (モバード ボールド) と Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー)

クオーツクロノグラフを含む

#### 日付合わせ(日付早送りモード)：

1. ロックを解除したリューズをポジション2まで引き出します。時計は作動し続けます。
2. リューズを時計回りに回して表示窓Dに正確な日付を表示させます。
3. リューズをポジション1に押し戻してケース内にねじ込みます。

ご注意：時計が自動日付変更中の午後9時から午前0時までの間に日付合わせを行った場合は、日付を翌日にセットする必要があります。この時間帯に日付早送りモードを使って日付を修正した場合、日付は午前0時に自動的に進みません。

#### 電池交換後の日付/時刻合わせ：

1. ロックを解除したねじ込み式リューズをポジション2まで引き出します。時計は作動し続けます。
2. リューズを時計回りに回して表示窓Dに昨日の日付を表示させます。
3. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
4. リューズを時計回りに回して表示窓Dに正確な日付を表示させます。
5. 引き続きリューズを時計回りに回して針を正確な時刻に合わせます。

ご注意：時刻合わせのときに、AM/PMの表示に注意してください。

6. リューズをポジション1に押し戻してケースにねじ込みます。

#### クロノグラフ機能

##### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。ボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。もう一度ボタンAを押すとクロノグラフが停止して、経過時間を読み取ることができます。再度ボタンAを押すと再びクロノグラフがスタートします。ボタンBを押すとクロノグラフ針C、E、およびFがゼロにリセットされます。時刻合わせを行ってもクロノグラフは停止しませんが、リューズが引き出されているとボタンAとBの操作はできません。

ご注意：クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。クロノグラフ針をゼロにリセットするにはボタンBを押してください。

重要：リューズがポジション2または3に引き出されているときは、プッシュボタンAまたはBを押さないでください。リューズがケースに押し込まれていない状態で誤ってボタンAまたはBを押してしまった場合、クロノグラフ針が連動しなくなる可能性があります。この場合、後述の操作手順に従ってクロノグラフ針の同期化を行ってください。

#### 単純計時機能：

ごく普通の競技のタイム {経過時間} を測定するには：

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、3本のクロノグラフ針でタイムを読み取ります (例：1時間、8分、47秒)。
3. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### 積算計時機能：

連続する短時間の競技の合計タイムを計測するには (例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など)：

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、途中経過タイムを読み取ります (例：15分、22秒)。
3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
4. もう一度ボタンAを押してクロノグラフをもう一度停止し、新たな途中経過タイムを読み取ります (例：28分、35秒)。

ご注意：クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。

5. ステップ1と2を繰り返して、各経過タイムを加算します。
6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑦クオーツクロノグラフ 1/1秒 - タイプA

43.5 mm Movado BOLD (モバード ボールド) と Series 800 Sub-Sea (シリーズ 800 サブシー)  
クオーツクロノグラフを含む

### スプリットタイムまたは中間タイム計測機能:

レースの進行などの中間タイムを読み取るには:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
3. 中間タイムを読み取ります (例: 11分、16秒)。
4. ボタンBを押して計測を再開します。3本のクロノグラフ針は瞬時に計測中のタイムに追いつきます。
5. 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
6. ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
7. 最終タイムを読み取ります (例: 2時間、14分、7秒)。
8. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### クロノグラフ針の同期化:

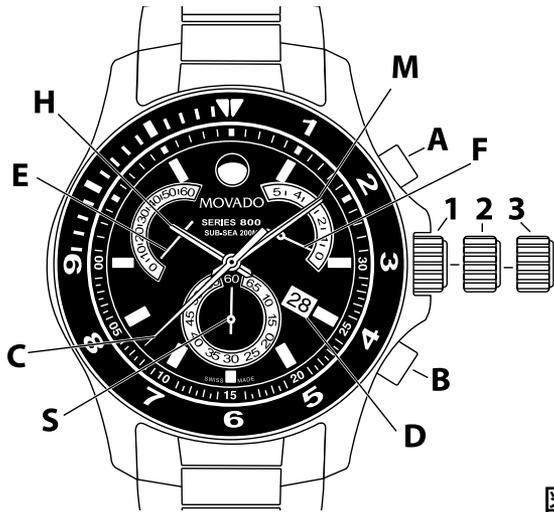
電池交換後やエラー発生時には、クロノグラフ針 (1本または複数) を手動で調整して、すべてが正しくゼロ位置に揃うようにする必要があります。

ご注意: 修正モードでは、プッシュボタンAを1回押し放すたびに機能中のクロノグラフ針が一刻みずつ進みます。針を素早く進めるには、プッシュボタンAを押し続けてください。リューズをポジション1に押し戻してケースにねじ込むことで、いつでも修正モードを終了できます。

1. ロックを解除したリューズをポジション3まで引き出します。
2. プッシュボタンAとBを同時に最低2秒間押し続けると、修正モードになりクロノグラフ秒針Cが1回転したら修正モードがアクティブになりますのでボタンAとBを放します。
3. プッシュボタンAを使って中央のクロノグラフ秒針Cを調節します。
4. 針Cがゼロ位置に達したら、プッシュボタンBを押します。
5. 次にプッシュボタンAを押してクロノグラフ分針Eを調節します。
6. 針Eがゼロ位置に達したら、プッシュボタンBを押します。
7. プッシュボタンAを押してクロノグラフ時針Fを調節します。
8. 針Fがゼロ位置に達したら、リューズをポジション1に押し戻し、ケースにねじ込みます。これでクロノグラフ針はすべてゼロ位置に同期化され、クロノグラフが使用できる状態になります。

## ⑧クオーツクロノグラフ 1/1秒 - タイプB

Series 800 Sub-Sea (シリーズ800サブシー) レトログラードと Verto (ヴェルト)  
レトログラード クロノグラフを含む



図A

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- S - スモールセコンド針
- C - クロノグラフのレトログラード30秒計
- E - クロノグラフのレトログラード60分計
- F - クロノグラフのレトログラード5分計
- D - 日付表示窓
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン(スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン(スプリットタイム/リセット)

これらのクロノグラフ モデルは、中央に付いたレトログラード秒カウンター (30秒まで)、2 つのレトログラード分カウンター (5分までと60分まで)、スモールセコンド サブダイヤル、日付ウィンドウを備えています。これらは1時間、5分および59秒までの事象の経過時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。クロノグラフは2時間経つと、自動的に停止します。

### 時刻/日付合わせ

#### リューズの位置:

- ポジション1 - 通常の作動位置。  
ケースにねじ込んだ状態。
- ポジション2 - 日付合わせ:  
リューズを時計回りに回す。
- ポジション3 - 時刻合わせ:  
リューズをどちらかの方向に回す。

#### 時刻合わせ:

1. ねじ込み式リューズのロックを解除します。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。
2. スモールセコンド針Sが <<60>> の位置に達したらリューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
3. リューズをどちらかの方向に回して針を正確な時刻にセットします。このとき、日付が正午ではなく午前0時が変わることを確認してください。
4. リューズをポジション1に押し戻してねじ込みます。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。これで時計は正確な時刻にセットされ、再び動き始めます。

#### 日付合わせ(日付早送りモード):

1. ねじ込み式リューズのロックを解除します。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。
2. リューズをポジション2まで引き出します。時計は作動し続けます。
3. リューズを時計回りに回して表示窓Dに正確な日付を表示させます。
4. リューズをポジション1に押し戻してねじ込みます。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。

## ⑧クオーツクロノグラフ

### 1/1秒 – タイプB

Series 800 Sub-Sea (シリーズ800サブシー) レトログラードと Verto (ヴェルト)  
レトログラード クロノグラフを含む

#### クロノグラフ機能

##### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。もう一度ボタンAを押すとクロノグラフが停止して、経過時間を読み取ることができます。再度ボタンAを押すと再びクロノグラフがスタートします。ボタンBを押すとクロノグラフ針C、E、およびFがゼロにリセットされます。

**重要:**クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1でケース内にねじ込まれ、カウンター針がゼロの位置になっている必要があります。クロノグラフ針をゼロにリセットするには、ボタンBを押すか、必要であれば下記の手順に従ってください。

##### クロノグラフカウンターをゼロにリセットするには:

計時を始める前に、すべてのクロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。必要に応じて、リューズのロックを解除して以下の手順に従ってカウンターの針をリセットしてください:

**60分計:**リューズをポジション2まで引き出して、プッシュボタンBを押しながらリューズを時計回りに回します。

**30秒計:**リューズをポジション3まで引き出して、プッシュボタンAを押しながらリューズを時計回りに回します。

**5分計:**リューズをポジション3まで引き出して、プッシュボタンBを押しながらリューズを時計回りに回します。

##### 単純計時機能:

普通の競技のタイムを測定するには:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、クロノグラフ針でタイムを読み取ります (例: 5分、57秒)。
3. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

##### 積算計時機能:

連続する競技の合計タイムを計測するには (例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など):

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
  2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、経過時間を読み取ります。
  3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
  4. もう一度ボタンAを押してクロノグラフをもう一度停止し、新たな経過時間を読み取ります。
- ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。
5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を加算します。
  6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

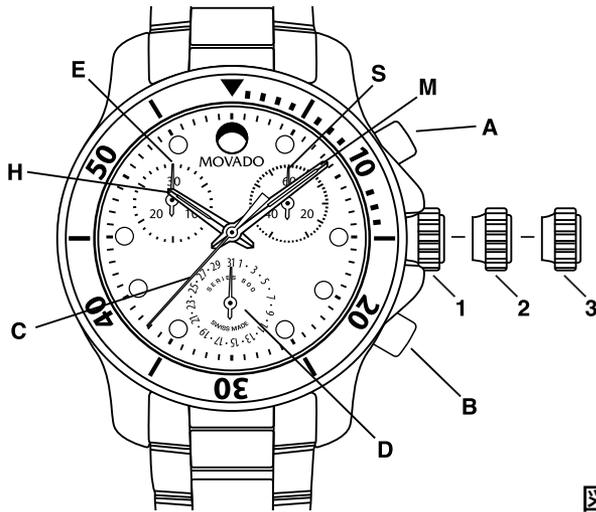
##### スプリットタイムまたは中間タイム計測機能:

レースの進行などの中間タイムを読み取るには:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
3. 中間タイムを読み取ります (例: 6分、4秒)。
4. ボタンBを押して計測を再開します。3本のクロノグラフ針は瞬時に計測中のタイムに追いつきます。
5. 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
6. ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
7. 最終タイムを読み取ります (例: 25分、18秒)。
8. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑨クオーツクロノグラフ 1/5秒 - タイプA

Series 800 (シリーズ 800) レディース クロノグラフ モデルと  
34 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む



図A

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- C - クロノグラフ1/5秒針
- S - スモールセコンド針
- D - 日付表示
- E - クロノグラフ30分カウンター
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン(スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン(スプリットタイム/リセット)

これらのクロノグラフモデルには、中央に付いているクロノグラフの1/5秒針、分カウンター(30分まで)、スモールセコンド、日付表示サブダイヤルがついています。これらは30分までの事象の持続時間を最も近い1/5秒まで計測するのに使用できます。

### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計 (スモールセコンド針S) は停止します。  
ご注意:クロノグラフが作動中にリューズを3の位置に引き出すと、時間の計測を停止します。
2. リューズをいずれかの方向に回して時針Hと分針Mを希望する時間に合わせます。AM/PMに注意して設定してください。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再度動き出します。

### 時刻合わせ:

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. リューズを右回りに回して日付Dを設定します。  
警告: 時計と分の針が午後9時から午前12時30分の間にあるときは、絶対に日付を設定しないでください。この間に設定すると、カレンダーのメカニズムを損傷する恐れがあります。これらの時間中にどうしても日付をリセットする必要がある場合は、まず時針と分針をこれらの時間外のいずれかの時刻に動かして、次に針を正しい時刻にリセットします。
3. リューズを1の位置に引き出します。

### クロノグラフを操作するには:

このクロノグラフは、最大2時間まで1/5秒ずつの単位で時間を計測して表示できます(30分カウンターの4回転)。バッテリーを節約するために、クロノグラフは2時間連続して作動後に停止し自動的にリセットされます。

### シンプルなクロノグラフ機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフを開始します。クロノグラフの針CとEが動き出します。
2. ボタンAを押して、クロノグラフを停止して、針CとEで示される経過時間を読みます。
3. ボタンBを押して、クロノグラフの針を0にリセットします。

## ⑨クオーツクロノグラフ 1/5秒 – タイプA

Series 800 (シリーズ 800) レディース クロノグラフ モデルと  
34 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む

### 積算計時機能:

競技が繰り返し中断されるフットボールゲームの実際の試合時間など、一連の短い事象の合計時間を計測するには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。
3. ボタンAをもう一度押して計測を再開します。
4. ボタンAをさらにもう一度押して、クロノグラフを停止して、新たな経過時間を読みます。  
ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフの針は合計累積経過時間を示します。
5. 時間の間隔を追加するには、ステップ1と2を繰り返します。
6. 最終の積算時間を読み取ったら、ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

### スプリットタイムまたは中間時間機能:

レースの進行中に中間時間を計るには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンBを押して、クロノグラフを一瞬停止します。
3. 中間時間を読みます。例:11分、16秒
4. ボタンBを押して、クロノグラフ機能を再開します。クロノグラフの2つの針が進行中の事象にただちに追いつきます。
5. 2番目のスプリットタイムを読むには、ボタンBをもう一度押します。希望に応じてステップ2から4までを繰り返して、さらにスプリットタイムを計ります。
6. ボタンAを押して、クロノグラフを停止します。
7. 最終時間を読みます。例:24分、7.2秒
8. ボタンBを押して、クロノグラフの針を0にリセットします。

### クロノグラフの針をリセットするには:

電池交換後、またはエラーの際に、必要に応じてクロノグラフの針を再度0にすることができます。  
注意:針を速く進めるには、プッシュボタンを1秒以上押したままにします。

### リュースの位置2:

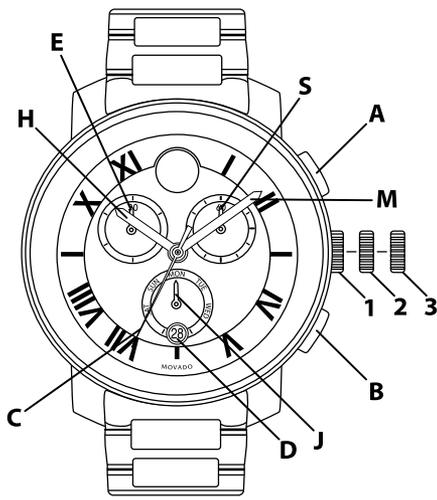
Bボタンを使用して分カウンター針Eを合わせます。

### リュースの位置3:

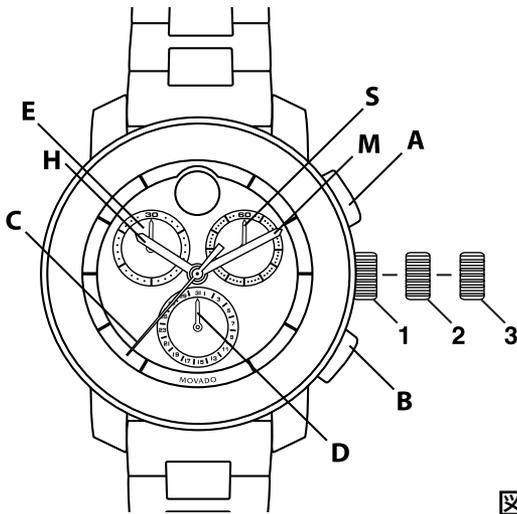
Aボタンを使用してクロノグラフの1/5秒針Cを合わせます。

## ⑩クオーツクロノグラフ 1/5秒 - タイプB

40 mm Movado BOLD Luxe (モバード ボールド ラックス) と一部の  
38 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む



図A



図B

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- C - クロノグラフ 1/5 秒針
- S - スモールセコンド針
- J - 曜日インジケーター針
- D - 日付ウィンドウ/インジケーター
- E - クロノグラフ 30 分カウンター
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - 開始/停止
- B - リセット

これらのクロノグラフ モデルは、中央に付いた1.5秒クロノグラフ針、分カウンター (30分まで)、スモールセコンド サブダイヤル、日付ウィンドウ付き (図A) または日付インジケーター サブダイヤル (図B) の曜日インジケーター サブダイヤルを備えています。これらは30分までの事象の持続時間を最も近い1/5秒まで計測するのに使用できます。

### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計 (スモールセコンド針S) は停止します。  
ご注意:クロノグラフが作動中にリューズを3の位置に引き出すと、時間の計測が停止されます。
2. リューズをいずれかの方向に回して時針Hと分針Mを希望する時間に合わせます。AM/PMに注意して設定してください。
3. リューズをポジション1に押し戻します。時計が再度動き出します。

### 曜日合わせ (一部のモデル、図A):

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. リューズをいずれかの方向に回して曜日を合わせます: 時針Hと分針Mが深夜0時 (24:00) を過ぎるたびに曜日インジケーター針Jが1日後または前に動きます。
3. 針Jが正しい曜日を示したら、リューズを回して時針Hと分針Mを希望する時間に合わせます。AM/PMに注意して設定してください。
4. リューズをポジション1に押し戻します。

### 日付合わせ:

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. リューズを右回り (図A) または左回り (図B) に回して日付Dを合わせます。

警告: 時計と分の針が午後9時から午前12時30分の間にある時は、絶対に日付Dを設定しないでください。この間に設定すると、カレンダーのメカニズムを損傷する恐れがあります。これらの時間中にどうしても日付をリセットする必要がある場合は、まず時針と分針をこれらの時間外のいずれかの時刻に動かして、次に針を正しい時刻にリセットします。

## ⑩クオーツクロノグラフ

### 1/5秒 – タイプB

40 mm Movado BOLD Luxe (モバード ボールド ラックス) と一部の  
38 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クロノグラフ モデルを含む

3. リューズを1の位置に押し戻します。

#### クロノグラフを操作するには:

このクロノグラフは、最大2時間 (30分カウンター4回転) まで1/5秒ずつの単位で時間を計測して表示できます。電池の寿命を節約するために、クロノグラフは2時間続けて作動すると自動的に停止しリセットされます。

#### シンプルなクロノグラフ機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフを開始します。クロノグラフの針CとEが動き出します。
2. ボタンAを押して、クロノグラフを停止して、針CとEで示される経過時間を読みます。
3. ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

#### 積算計時機能:

競技が繰り返し中断されるフットボールゲームの実際の試合時間など、一連の短い事象の合計時間を計測するには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。
3. ボタンAをもう一度押して計測を再開します。
4. ボタンAをさらにもう一度押して、クロノグラフを停止して、新たな経過時間を読みます。  
ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフの針は合計累積経過時間を示します。
5. 時間の間隔を追加するには、ステップ1と2を繰り返します。
6. 最終の積算時間を読み取ったら、ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

#### スプリットタイムまたは中間時間機能:

レースの進行中に中間時間を計るには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンBを押して、クロノグラフを一瞬停止します。
3. 中間時間を読みます。例: 11分、16.4秒。
4. ボタンBを押して、クロノグラフ機能を再開します。クロノグラフの2つの針が進行中の事象にただちに追いつきます。
5. 2番目のスプリットタイムを計るには、ボタンBをもう一度押します。  
希望に応じてステップ2と4を繰り返して、さらにスプリットタイムを計ります。
6. ボタンAを押して、クロノグラフを停止します。
7. 最終時間を読みます。例: 24分、7.2秒。
8. ボタンBを押して、クロノグラフの針を0にリセットします。

#### クロノグラフの針をリセットするには:

電池交換後、またはエラーの際に、必要に応じてクロノグラフの針を再度0にすることができます。  
ご注意:針を速く進めるには、ボタンを押して1秒以上押したままにします。

#### リューズの位置2:

ボタンBを使って分カウンター針Eを合わせます。

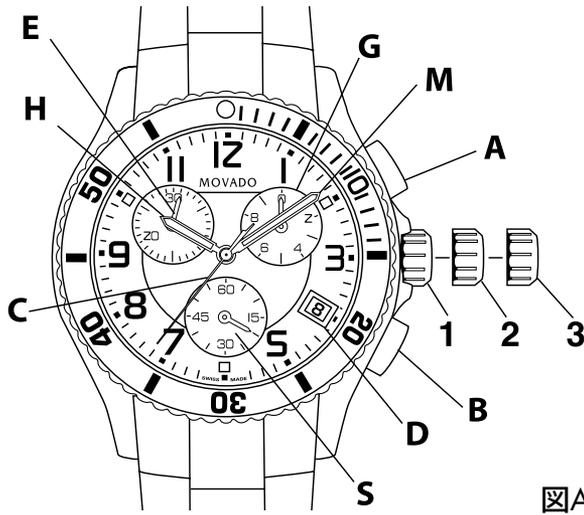
#### リューズの位置3:

ボタンAを使って1/5秒針Cを合わせます。

## ⑪クオーツ クロノグラフ

### 1/10秒 - タイプA

Movado Junior Sport (モバード ジュニア スポーツ)クオーツ クロノグラフを含む



図A

#### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- C - クロノグラフ秒針
- E - クロノグラフ30分計
- G - クロノグラフ1/10秒計
- S - スモールセコンド針
- D - 日付表示窓
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン(スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン(スプリットタイム/リセット)

このクオーツクロノグラフモデルは、1/10秒計、分カウンター(30分)、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示窓を備えています。1/10秒単位で、最長29分59.9秒までの計時が可能です。

#### 時刻/日付合わせ

##### 時刻合わせ:

1. 6時位置にあるサブダイヤルのスモールセコンド針Sが <<60>> の位置に達すると同時に、リューズをポジション2まで引き出します。時計は停止します。

2. リューズをどちらかの方向に回して針を正確な時刻にセットします。このとき、日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
3. 針を正確な時刻よりほんの少し先に移動し、リューズを反時計回りにゆっくりと回して分針Mを正しい分インデックスに合わせます。
4. 正確な時報(ラジオのニュース局の時報など)を利用します。時報で正確な時刻が鳴ったら、リューズをポジション1に押し戻します。これで時計は正確な時刻にセットされ、再び動き始めます。

##### タイムゾーンと日付の修正:

重要:時計が自動日付変更中の午後10時から午前2時までの間は日付合わせを行わないでください。ムーブメントを損傷する原因となります。

これらの調整によって時計が止まったり、分針と秒針による時刻表示に影響を及ぼすことはありません。

1. リューズをポジション2まで引き出します。
2. リューズをどちらかの方向に回して、時針Hを1時間から数時間進める・遅らせる、あるいは別のタイムゾーンの時刻に合わせて時刻を変更します。
3. 日付Dを変更するには、日付が正午ではなく午前0時になるように、時針Hを2周させて進めます。
4. 調整が終わったら、すぐにリューズをポジション1に押し戻します。

#### クロノグラフの機能

##### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。クロノグラフが作動中に、クロノグラフ秒針Cが1周すると、分カウンターの針Eが1分進みます。1/10秒針Gは、クロノグラフが作動している間は動きません。もう一度ボタンAを押すと(2回目)クロノグラフが停止して、針Gが所定の1/10秒インデックスに移動します。ボタンBを押すと針G、E、およびCがゼロにリセットされます。

## ⑪クオーツ クロノグラフ

### 1/10秒 - タイプA

Movado Junior Sport (モバード ジュニア スポーツ)クオーツ クロノグラフを含む

**重要:**クロノグラフをスタートさせる前に、リュースがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。必要に応じて、ボタンBを押してゼロにリセットしてください。リュースをポジション2または3に引き出した状態でクロノグラフを使用しないでください。水中で時計を使用中にクロノグラフボタンAとBを操作しないでください。

**ご注意:**時刻合わせを行ってもクロノグラフは停止しませんが、リュースの巻き真が引き出されている限りボタンAとBの操作はできません。

#### 単純計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
3. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

#### スプリットタイム機能:

レースの進行などの中間タイムを読み取ることができます:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
3. 中間タイムを読み取ります。
4. ボタンBを押して計測を再開します。クロノグラフ針は計測中のタイムに瞬時に追いつきます。
5. 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
6. ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
7. 最終タイムを読み取ります。
8. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

#### 第1位と第2位の結果:

このクロノグラフは、優勝タイムと準優勝タイムを計測することが可能です:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. 優勝者がゴールラインを通過した時点でボタンBを押します。クロノグラフは停止します。
3. 第2位の走者がゴールラインを通過した時点で、ボタンAを押します。
4. 文字盤に表示される優勝者のタイムを記録します。
5. 次にボタンBを押します。クロノグラフ針が第2位の走者のタイムに移動してこれを表示します。
6. もう一度ボタンBを押してすべてのクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### クロノグラフ針の同期化:

電池交換後やエラー発生時には、必要に応じてクロノグラフ針をゼロ位置に揃えることができます:

#### リュースの位置2:

ボタンBで分カウンターの針Eを調節。

#### リュースの位置3:

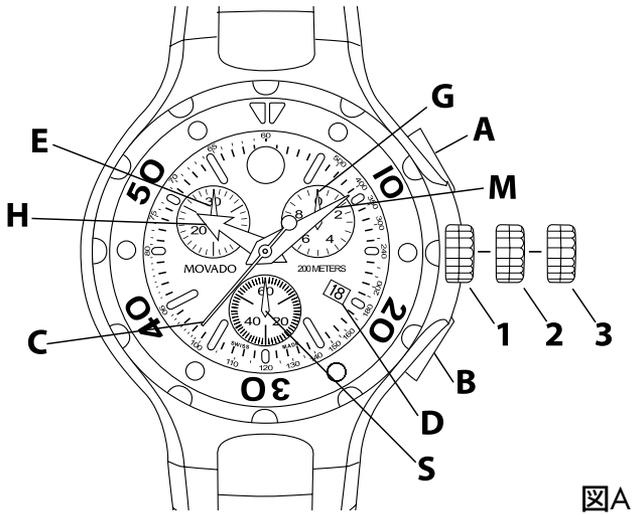
ボタンAでクロノグラフ秒針Cを調節。

ボタンBで1/10秒カウンターの針(G)を調節。

針を素早く進めるには、プッシュボタンを1秒以上押し続けます。

## ⑫クォーツクロノグラフ 1/10秒 - タイプB

オリジナル Series 800 Sport (シリーズ800スポーツ) と Sport Elegant (スポーツ エレガント)  
および一部の Vizio (ビジオ) クォーツ クロノグラフを含む



図A

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- C - クロノグラフ秒針
- E - クロノグラフ30分計
- G - クロノグラフ1/10秒計
- S - スモールセコンド針
- D - 日付表示窓
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン (スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/リセット)

このクォーツクロノグラフモデルは、1/10秒計、分カウンター (30分)、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示窓を備えています。1/10秒単位で、最長29分59.9秒までの計時が可能です。

### 時刻/日付合わせ

#### 時刻合わせ:

1. 最初にねじ込み式のリューズ (スクリューダウン クラウン) のロックを解除します。一部のモデルのみ。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。
2. スモールセコンド針Sが <<60>> の位置に達すると同時にリューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。

3. リューズを回して針を正確な時刻にセットします。このとき、日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
4. 針を正確な時刻よりほんの少し先に移動し、リューズを反時計回りにゆっくりと回して分針Mを正しい分インデックスに合わせます。
5. 正確な時報 (ラジオのニュース局の時報など) を利用します。時報で正確な時刻が鳴ったら、リューズをポジション1に押し戻します。これで時計は正確な時刻にセットされ、再び動き始めます。
6. リューズをケースに戻します。一部のモデルのみ。操作方法については「ねじ込み式リューズ」を参照してください。

### タイムゾーンと日付の修正:

1. リューズまたはロックを解除したねじ込み式のリューズを2の位置に引き出します。
2. リューズを回して時針Hを別のタイムゾーンの時刻に合わせて進める・遅らせる、あるいは、夏時間/冬時間調整を行います。
3. 日付Dを変更するには、時針Hを2周させて進めます。そうしないと、日付は正午に変更されます。これらの調整によって時計が止まったり、分針と秒針による時刻表示に影響を及ぼすことはありません。
4. 針を合わせたら、ただちにリューズを1の位置に戻して、一部のモデルではリューズをケースにねじ込みます。

### クロノグラフ機能

#### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。クロノグラフが作動中に、クロノグラフ秒針Cが1周すると、分カウンターの針Eが1分進みます。1/10秒針Gは、クロノグラフが作動している間は動きません。もう一度ボタンAを押すとクロノグラフが停止して、針Gが所定の1/10秒インデックスに移動します。ボタンBを押すと針G、E、およびCがゼロにリセットされます。時刻合わせを行ってもクロノグラフは停止しませんが、リューズが引き出されている限りボタンAとBの操作はできません。

## ⑫クォーツ クロノグラフ 1/10秒 – タイプB

オリジナル Series 800 Sport (シリーズ800スポーツ) と Sport Elegant (スポーツ エレガント)  
および一部の Vizio (ビジオ) クォーツ クロノグラフを含む

**重要:** クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。クロノグラフ針をゼロにリセットするにはボタンBを押してください。リューズがポジション2または3に引き出されているときは、プッシュボタンAまたはBを押さないでください。リューズがケースに押し込まれていない状態で誤ってボタンAまたはBを押してしまった場合、クロノグラフ針が連動しなくなる可能性があります。この場合、次の操作手順に従ってください。

### クロノグラフ針の同期化:

電池交換後やエラー発生時には、必要に応じてクロノグラフ針をゼロ位置に揃えることができます。ボタンをすばやく1回押して放すたびに、クロノグラフ針が1刻みずつ進みます。針を素早く進めるには、プッシュボタンを1秒以上押し続けてください。

### リューズの位置 2:

ボタンBを使ってクロノグラフ分針Eを調節。

### リューズの位置 3:

ボタンAでクロノグラフ秒針Cを調節。

ボタンBで1/10秒針Gを調節。

### クロノグラフの操作

#### 単純計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
3. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

#### 積算計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
4. 再度ボタンAを押すと、再びクロノグラフが停止します。

**ご注意:** クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。

5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を追加します。
6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

### スプリットタイムまたは中間タイム計測機能:

これらのモデルでは、レースの進行などの中間タイムを読み取ることができます:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
3. 中間タイムを読み取ります (例: 10分、26秒、3/10秒)。
4. ボタンBを押して計測を再開します。クロノグラフ針は計測中のタイムに瞬時に追いつきます。
5. 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
6. ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
7. 最終タイムを読み取ります (例: 27分、3秒、7/10秒)。
8. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

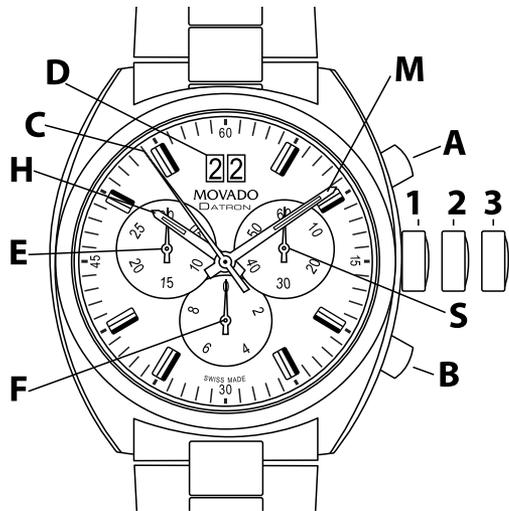
### 第1位と第2位の結果:

これらのモデルでは、レースの進行などの中間タイムを読み取ることができます:

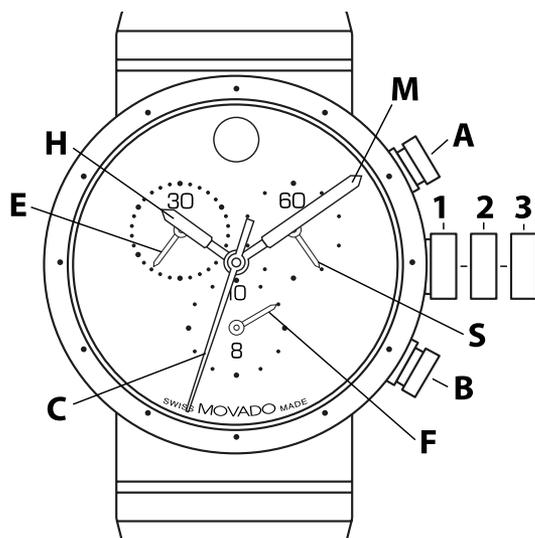
1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. 優勝者がゴールラインを通過した時点でボタンBを押します。クロノグラフは停止します。
3. 次の走者がゴールラインを通過した時点で、ボタンAを押します。
4. 文字盤に表示される優勝者のタイムを記録します。
5. ボタンBを押します。クロノグラフ針が次の走者のタイムに移動してこれを表示します。
6. もう一度ボタンBを押してすべてのクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑬ クォーツ クロノグラフ 1/10秒 - タイプC

Cerena (セレナ)、Datron (デイトロン)、Movado BOLD Titanium (モバード ボールド タイタニアン) XL、  
新型 Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Edge (モバード エッジ)、Movado Parlee (モバード パーリー) ク  
ォーツ、Movado TC (モバード TC (Thin Classic、シンクラシック)、Museum Sport (ミュージアム スポーツ)、  
Sapphire Synergy (サファイア シナジー)、SE Pilot (パイロット) と Strato (ストラト) クォーツ クロノグラフを含む



図A



図B

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- S - スモールセコンド針
- C - クロノグラフ60秒計
- E - クロノグラフ30分計
- F - クロノグラフ1/10秒計
- D - ビッグデイト表示
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン (スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/  
リセット)

これらのクロノグラフ モデルは、分カウンター (30分)、1/10秒カウンター (30分経過すると時カウンターになる)、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および一部のモデルでビッグデイト表示を備えています。1/10秒単位で最長29分59.9秒まで、または1秒単位で最長9時間59分59秒までの計時が可能です。

### 時刻/日付合わせ

#### 時刻合わせ:

1. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。
3. 操作を終えたらリューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

#### 秒を正確に合わせるには:

1. スモールセコンド針 (S) が <<60>> の位置に達すると同時にリューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズを回して針を正確な時刻にセットします。このとき、日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
3. 針を正確な時刻よりほんの少し先に移動し、リューズを反時計回りにゆっくりと回して分針を正しいインデックスに合わせます。
4. 正確な時報 (ラジオのニュース局の時報など) を利用します。時報で正確な時刻が鳴った瞬間に、リューズをポジション1に押し戻します。これで時計は正確な時刻にセットされ、再び動き始めます。

## ⑬ クオーツ クロノグラフ 1/10秒 – タイプC

Cerena (セレナ)、Datron (デイトロン)、Movado BOLD Titanium (モバード ボールド タイタニウム) XL、  
新型 Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Edge (モバード エッジ)、Movado Parlee (モバード パーリー) ク  
オーツ、Movado TC (モバード TC (Thin Classic、シン クラシック)、Museum Sport (ミュージアム スポーツ)、  
Sapphire Synergy (サファイア シナジー)、SE Pilot (パイロット) と Strato (ストラト) クオーツ クロノグラフを含む

### ビッグデイト表示の修正(日付早送りモード)：

12時位置にビッグデイト表示を備えたモデルのみ  
(図Aを参照)

1. リューズをポジション2まで引き出します。時計は作動し続けます。
2. リューズを時計回りに回してビッグデイト表示Dに正確な日付を表示させます。
3. リューズをポジション1に押し戻します。  
ご注意：時計の自動日付変更中の午後9時から午前0時までの間に日付合わせを行った場合は、日付を翌日にセットする必要があります。この時間帯に日付早送りモードを使って日付を修正した場合、日付は午前0時に自動的に進みません。

日付早送りモードを使用中にリューズを回すのが速すぎると、日付が午前0時に正しく変更されない場合があります。手動で日付を修正するには、リューズをポジション2まで引き出し、時計回りに回して表示窓に正しい日付を表示させてから、リューズをポジション1に押し戻してください。

### 電池交換後の日付/時刻合わせ：

日付表示を備えていないモデルの場合は、上記の「時刻合わせ」の手順に従ってください。

12時位置にビッグデイト表示を備えたモデル(図Aを参照)を参照：

1. リューズをポジション2まで引き出します。時計は作動し続けます。
2. リューズを時計回りに回して表示窓Dに昨日の日付を表示させます。
3. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
4. リューズを時計回りに回して表示窓Dに正確な日付を表示させます。
5. 引き続きリューズを時計回りに回して針を正確な時刻に合わせます。  
ご注意：時刻合わせのときに、AM/PMの表示に注意してください。
6. 操作を終えたらリューズをポジション1に押し戻します。

### クロノグラフ機能

#### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。もう一度ボタンAを押すとクロノグラフが停止して、経過時間を読み取ることができます。再度ボタンAを押すと再びクロノグラフがスタートします。ボタンBを押すとクロノグラフ針C、E、およびFがゼロにリセットされます。時刻合わせを行ってもクロノグラフは停止しませんが、リューズが引き出されている限りボタンAとBの操作はできません。

ご注意：クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。クロノグラフ針をゼロにリセットするにはボタンBを押してください。

重要：リューズがポジション2または3に引き出されているときは、プッシュボタンAまたはBを押さないでください。リューズがケースに押し込まれていない状態で誤ってボタンAまたはBを押してしまった場合、クロノグラフ針が連動しなくなる可能性があります。この場合、後述の操作手順に従ってクロノグラフ針の同期化を行ってください。

#### 単純計時機能：

普通の競技のタイムを測定するには：

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、クロノグラフ針でタイムを読み取ります  
(例：4分、38秒、7/10秒)。
3. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### 積算計時機能：

連続する競技の合計タイムを計測するには(例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など)：

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、経過時間を読み取ります(例：15分、5秒)。

## ⑬ クオーツ クロノグラフ

### 1/10秒 - タイプC

Cerena (セレナ)、Datron (デイトロン)、Movado BOLD Titanium (モバード ボールド タイタニアン) XL、  
新型 Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Edge (モバード エッジ)、Movado Parlee (モバード パーリー) ク  
オーツ、Movado TC (モバード TC (Thin Classic、シン クラシック)、Museum Sport (ミュージアム スポーツ)、  
Sapphire Synergy (サファイア シナジー)、SE Pilot (パイロット) と Strato (ストラト) クオーツ クロノグラフを含む

- もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
- もう一度ボタンAを押してクロノグラフをもう一度停止し、新たな経過時間を読み取ります (例: 28分、10秒)。  
ご注意: クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。
- ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を加算します。
- 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### スプリットタイムまたは中間タイム計測機能:

- レースの進行などの中間タイムを読み取るには:
- ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
  - ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
  - 中間タイムを読み取ります (例: 10分、10秒)。
  - ボタンBを押して計測を再開します。3本のクロノグラフ針は瞬時に計測中のタイムに追いつきます。
  - 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
  - ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
  - 最終タイムを読み取ります (例: 2時間、14分、7秒)。
  - ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### クロノグラフ針の同期化:

電池交換後やエラー発生時には、クロノグラフ針 (1本または複数) を手動で調整して、すべてが正確にゼロ位置に揃うようにする必要があります。

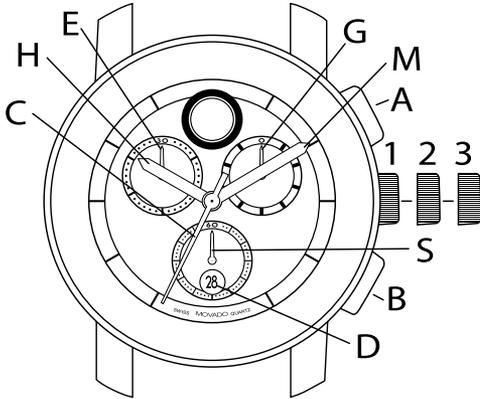
ご注意: 修正モードでは、プッシュボタンAを1回押し放すたびに機能中のクロノグラフ針が一刻みずつ進みます。針を素早く進めるには、プッシュボタンAを押し続けてください。リューズをポジション1に押し戻すことで、いつでも修正モードを終了できます。

- リューズをポジション3まで引き出します。
- プッシュボタンAとBを同時に最低2秒押し続けると修正モードに入り、クロノグラフ秒針Cが1回転したら修正モードがアクティブになりますのでボタンAとBを放します。
- プッシュボタンAを使って中央のクロノグラフ秒針Cを調節します。
- 針Cがゼロ位置に達したら、プッシュボタンBを押します。
- 次にプッシュボタンAを押してクロノグラフの1/10秒針Fを調節します。
- 針Fがゼロ位置に達したら、プッシュボタンBを押します。
- プッシュボタンAを押してクロノグラフ分針Eを調節します。
- 針Eがゼロ位置に達したら、リューズをポジション1に押し戻します。これでクロノグラフ針はゼロ位置に揃い、クロノグラフが使用できる状態になります。

## ⑭ クォーツ クロノグラフ

### 1/10秒 - タイプD

Verto (ヴェルト) と一部の 38 mm Movado BOLD (モバード ボールド) クォーツ クロノグラフを含む



#### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- C - クロノグラフ秒針
- E - クロノグラフ30分針
- G - クロノグラフ1/10秒針
- S - スモールセコンド針
- D - 日付表示窓
- 1, 2, 3 - リューズの位置
- A - クロノグラフ プッシュボタン(スタート/ストップ)
- B - クロノグラフ プッシュボタン(スプリットタイム/リセット)

これらのクォーツ クロノグラフ モデルには、1/10秒カウンター、分カウンター(30分まで)、スモールセコンドサブダイヤル、曜日インジケーターサブダイヤル、中央に付いているクロノグラフの秒針、日付ウィンドウがついています。これらは30分と60秒までの事象の経過時間を最も近い1/10秒まで計測するのに使用できます。

#### 時刻/日付合わせ

##### 時刻合わせ:

1. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。

2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。このとき、日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。  
ご注意: 日付Dは、時針Hが時計回りに2周し、午前0時を通過した時に1日進みます。
3. リューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

##### 日付合わせ(リューズを用いた日付のクイック調整):

1. リューズをポジション2まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズを反時計回りに回して日付を進めます。
3. 日付窓Dに正しい日付が表示されたら、リューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

図A

#### クロノグラフの機能

##### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。クロノグラフが作動中に、クロノグラフ秒針Cが1周すると、分カウンターの針Eが1分進みます。1/10秒針Gは、クロノグラフが作動している間は動きません。もう一度ボタンAを押すと(2回目)クロノグラフが停止して、針Gが所定の1/10秒インデックスに移動します。ボタンBを押すと針G、E、およびCがゼロにリセットされます。時刻合わせを行ってもクロノグラフは停止しませんが、リューズの巻き真が引き出されている限りボタンAとBの操作はできません。

**重要:** クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。クロノグラフ針をゼロにリセットするにはボタンBを押してください。リューズがポジション2または3に引き出されているときは、プッシュボタンAまたはBを押さないでください。リューズがケースに押し込まれていない状態で誤ってボタンAまたはBを押してしまった場合、クロノグラフ針が連動しなくなる可能性があります。この場合、次の操作手順に従ってください。

## ⑭ クオーツ クロノグラフ

### 1/10秒 – タイプD

Verto と一部の 38 mm Movado BOLD クオーツ クロノグラフを含む

#### クロノグラフ針の同期化:

電池交換後やエラー発生時には、必要に応じてクロノグラフ針をゼロ位置に揃えることができます。ボタンをすばやく1回押して放すたびに、クロノグラフ針が1刻みずつ進みます。針を素早く進めるには、プッシュボタンを1秒以上押し続けてください。

#### リューズの位置2:

ボタンBを使ってクロノグラフ分針Eを調節。

#### リューズの位置3:

ボタンAでクロノグラフ秒針Cを調節。

ボタンBで1/10秒針Gを調節。

#### クロノグラフの操作

##### 単純計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、タイムを読み取ります。
3. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

##### 積算計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
  2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
  3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
  4. 再度ボタンAを押すと、再びクロノグラフが停止します。
- ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。
5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を追加します。
  6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

#### スプリットタイムまたは中間タイム計測機能:

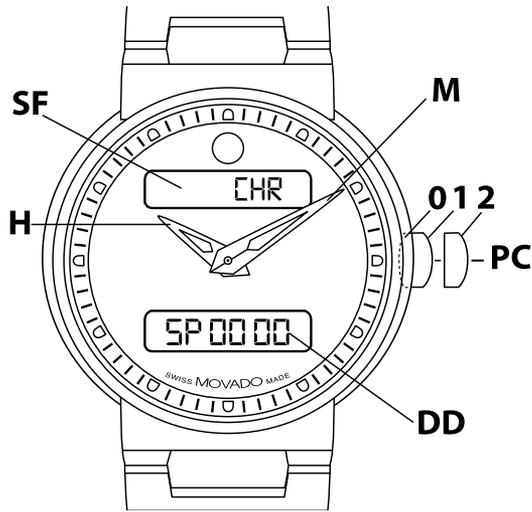
これらのモデルでは、レースの進行などの中間タイムを読み取ることができます:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. ボタンBを押してクロノグラフを一時停止します。
3. 中間タイムを読み取ります (例: 10分、26秒、3/10秒)。
4. ボタンBを押して計測を再開します。クロノグラフ針は計測中のタイムに瞬時に追いつきます。
5. 2つ目のスプリットタイムを読み取るには、もう一度ボタンBを押します。追加のスプリットタイムを計測するには、ステップ2から4の操作を繰り返してください。
6. ボタンAを押してクロノグラフを停止します。
7. 最終タイムを読み取ります (例: 27分、3秒、7/10秒)。
8. ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑮ アナログ/デジタルクロノグラフ

1/100 秒

Movado Dura (モバード デュラ) アナログ-デジタル クォーツ クロノグラフを含む



図A

### 説明:

- H - 時針
- M - 分針
- SF - 選択された機能の表示
- DD - デジタル表示
- PC - 設定リューズ

### リューズの位置:

- 0 - ケースに押し込んだ状態
  - 押してアラームをセット/解除
  - 押してクロノグラフをスタート/ストップ/リセット
- 1 - ニュートラル位置
  - リューズを回して機能を選択
- 2 - 引き出した位置
  - リューズを回して下のデジタル表示とアナログの針の位置を同時に修正

### ご使用前に

このアナログ-デジタル クロノグラフは、上部の選択された機能の表示部 (SF)、下部に6桁のLCD (液晶表示) デジタル情報表示 (DD)、さらに様々な機能の切り替え、選択、作動が可能な独自の設定リューズ(PC)を備えています。クロノグラフ機能を使用すると、最長47時間59分59.99秒までの計時が可能です。

重要:水中では絶対に設定リューズを操作しないでください。リューズの操作後は必ず、ポジション1(ニュートラル位置)に戻っていることを確認してください。

### 機能の選択:

リューズをポジション1(ニュートラル位置)にしてどちらかの方向に回し、機能を選択します。リューズを反時計回りに回すと、ディスプレイ上部に利用可能な機能が以下の順で表示されます:

- 1: ニュートラル (表示なし) → 2: ローカルタイム 時分秒 → 3: 秒/日付 → 4: 曜日/日付 → 5. タイマー TM → 6. セCONDタイムゾーン表示 T2 → 7. クロノ積算モード CHR → 8. クロノ SPLIT (スプリット)モード CHR → 9. アラーム AL。

リューズを時計回りに回すと、反対の順で機能が表示されます。

ご注意:この時計は電池切れ予告機能を備えています。電池切れが近づくとデジタル表示が点滅を開始し、速やかに電池を交換するよう知らせます。

### アナログの針とデジタル表示の同期:

電池交換後またはエラー発生時には、アナログの針が示す時刻とデジタル表示の時刻を一致させる必要があります。

1. リューズをポジション1にして、ニュートラル機能を選択します (デジタル情報の表示なし)。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ上部にRの文字が表示されます。
3. リューズをどちらかの方向に回して、デジタル表示と同じ時刻に針を合わせます。素早く回すと時針が1時間ごとに進み、(または戻り)ます。ゆっくり回すと、分の設定を行うことができます。
4. リューズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻してから回して、ローカルタイム設定機能を選択します。
5. 時刻合わせを行います。

## ⑮ アナログ/デジタルクロノグラフ

1/100 秒

Movado Dura (モバード デュラ) アナログ-デジタル クォーツ クロノグラフを含む

### 時刻表示モードの確認/変更:

デジタル表示による時刻は、12時間モード (AM/PM) または24時間モードで表示することができます。

1. リューズをポジション1にして、T2機能を選択します。
2. リューズを1回押します。AまたはPの文字が表示された場合、12時間モードに設定されています。  
ご注意: 12時間モードの場合、正午から午前0時までの間は、時刻を示す数字の横にPの小さな文字が表示されます。
3. リューズを2回押すと、24時間モードを選択することができます。

### デジタル表示の時刻と日付合わせ

#### 時・分の調整:

1. ローカルタイムを選択して表示します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ上部にTの文字が表示されます。ディスプレイ下部に時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リューズをどちらかの方向に回すと、デジタル表示の時刻を変更することができます。素早く回すと時間、ゆっくり回すと分の表示が変わります。  
ご注意: アナログの針は、デジタル表示の時刻と同期して動きます。
4. デジタル表示の時・分が正しく表示されたら、リューズをポジション1まで押し戻します。

#### 秒の正確な調整:

1. ローカルタイムを選択して表示します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ上部にTの文字が表示されます。ディスプレイ下部に時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リューズをポジション1まで押し込みます。秒を示す数字が1分間点滅します。
4. 秒の表示が点滅している間に、正確な時報(ラジオのニュース局の時報など)を参照してください。時報が正確な時刻を音で知らせる瞬間に、リューズをポジション0まで押し込みます。秒を示す数字がゼロ(00)にリセットされます。

ご注意: 0~30秒の間の数字が点滅していた場合は、リューズを押して秒をリセットした時に、時刻は現在の分のままになります。リューズを押す前に31~60秒の間の数字が点滅していた場合は、時刻が次の分になります。秒合わせが完了したら、ディスプレイを確認し、必要に応じて+/-1分を調整して時刻を修正します。

#### 日付と月の設定:

1. 秒/日付機能を選択します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。秒表示が消え、月を示す数字が日付の横に表示されます。これらの2つの数字が点滅します。
3. リューズをどちらかの方向に回します。素早く回すと月、ゆっくり回すと日付が変わります。
4. リューズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻します。月の表示が消えて秒表示に戻ります。  
ご注意: 時計を標準モードで使用している際に月が表示されていなくても、永久カレンダー機能(2099年まで)が正しく作動するためには月の設定を行う必要があります。

#### 曜日合わせ:

1. 曜日-日付機能を選択します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。日付の代わりに、曜日表示する言語を示す文字 (E = 英語、F = フランス語、S = スペイン語、D = ドイツ語) が表示されます。言語と年が点滅します。
3. リューズをどちらかの方向に回して、希望の言語と年を選択します。素早く回すと言語、ゆっくり回すと年が変わります。
4. リューズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻します。言語と年表示が消え、曜日と日付が再び表示されます。  
ご注意: 日付、月、および年を設定すると、永久カレンダー機能によって曜日が自動的に表示されます。

## ⑮ アナログ/デジタルクロノグラフ

1/100 秒

Movado Dura (モバード デュラ) アナログ-デジタル クオーツ クロノグラフを含む

### カウントダウン・タイマーの使用方法:

1. タイマー TM機能を選択します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ下部に時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リューズをどちらかの方向に回して、カウントダウンする時間を設定します。素早く回すと時、ゆっくり回すと分が変わります。
4. リューズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻します。カウントダウン機能が自動的にスタートして、設定した時間が経過するとアラーム音が鳴ります。
5. アラームを止めるにはリューズをポジション0まで押し込みます。

ご注意: カウントダウン機能はいつでもオフにできます。オフにするには、リューズをポジション0まで押し込んだ状態で2秒以上押し続けてください。カウントダウンが作動中にリューズを1度押すとカウントダウンが再スタートします。

### 別のタイムゾーンの時間の表示:

この時計では、ローカルタイムに加えてセカンドタイムゾーンの時間も表示することができます:

1. セカンドタイムゾーン表示T2機能を選択します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ下部に、セカンドタイムゾーンの時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リューズをどちらかの方向に回して、点滅している時刻を変更します。素早く回すと時、ゆっくり回すと分が変わります。
4. リューズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻します。

ご注意: セカンドタイムゾーンについては秒表示を調整することはできません。ローカルタイムにおける設定と同じ秒が表示されます。

タイムゾーン表示は、1/2時間単位で修正されます。セカンドタイムゾーンの時間表示を見る場合には、12時間モード(AM/PM)と24時間モードのどちらで時刻が表示されているかに注意する必要があります。

### タイムゾーンの変更:

タイムゾーンを変更する場合や、サマータイムへの変更が自動的に行われない場合は、デジタル表示の時間とアナログの針を前後に数時間調整することができます。このとき、分・秒のデジタル表示は変更されません。これを行うには:

1. ローカルタイムを選択して表示します。
2. リューズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ上部にTの文字が表示されます。ディスプレイ下部に時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リューズをどちらかの方向に素早く回して、デジタル表示の時間を変更します。このとき、アナログの針が同時に動いてデジタル表示と同期されます。
4. デジタル表示の時間が正しく調整されたら、リューズをポジション1まで押し戻します。

ご注意: サマータイムへの変更が自動的に行われないムーブメントの場合は、セカンドタイムゾーンも併せて調整する必要があります。

### クロノグラフの使用方法

#### 概要

このデジタルクロノグラフを使用すると、2つのモードのうちいずれかにより、47時間59分59.99秒までの計時が可能です。

クロノグラフを作動させるには、クロノグラフ機能CHRの**積算(Ad)**モード(積算時間を読み取る場合)または**スプリット(SP)**モード(連続する競技の中間タイムを計測する場合)を選択します。リューズを1度押すとクロノグラフカウンターがスタート、もう1度押すとストップ、さらにもう1度押すと再スタートします。

デジタル表示カウンターをゼロにリセットするには、リューズを2秒以上押し続けます。

ご注意: 2つのクロノグラフ機能(**積算**または**スプリット**)のうち、一度に使用できるのはどちらか1機能です。この2つの機能を同時に使用することはできません。モードを切り替えるには、まずクロノグラフを停止してカウンター表示をゼロにリセットする必要があります。ただし、クロノグラフの作動中でも時計の他の機能を選択して使用することはできます。

## ⑮ アナログ/デジタルクロノグラフ

1/100 秒

Movado Dura (モバード デュラ) アナログ-デジタル クォーツ クロノグラフを含む

### モードの選択:

**積算モード**では、カウンターをスタート・ストップすることにより、連続した競技の合計タイムを計測することができます。例えば、何度もプレーが中断されるサッカーの試合で実際のプレー時間を計測できます。カウンターをストップするたびに計時が中断されます。経過時間が続けて計測されることはありません。

**スプリットモード**では、レースなどの連続的な競技が進行する際に中間タイムを読み取ることができます。中間タイムが表示されている間も、クロノグラフはバックグラウンドで経過時間を計測し続けます。リユーズをもう1度押すと、カウンターの表示が変わり、計測中の経過時間が示されます。

### 表示の読取り:

**積算モード**または**スプリットモード**のいずれかでクロノグラフが作動している時には、カウンターに以下の情報が表示されます。

計測時間が1分未満の場合:

SP または Ad モード - 秒 + 1/100秒  
(例: "Ad 05 58")

計測時間が1分以上1時間未満の場合:

SP または Ad モード - Ad と 分 + 秒 +  
1/100秒が交互に表示されます。  
(例: "Ad" と "05 50 36" が交互に表示)

計測時間が1時間以上48時間未満の場合:

SP または Ad モード - 分 - 秒 - 1/100秒が  
交互に表示されます。  
(例: "01 35 28" と "Ad 55" が交互に表示)

### アラームの使用方法

#### アラームのセット:

1. アラームAL機能を選択します。
2. リユーズをポジション2まで引き出します。ディスプレイ下部に時・分を示す数字が点滅表示されます。
3. リユーズをどちらかの方向に回すと、希望の時間にアラームをセットすることができます。素早く回すと時、ゆっくり回すと分が変わります。
4. リユーズをポジション1(ニュートラル位置)まで押し戻します。これでアラームがセットされ、ディスプレイ下部にALと表示されます。
5. アラームを止めるにはリユーズをポジション0まで押し込みます。

ご注意: カウントダウン機能はいつでもオフにできます。オフにするには、リユーズをポジション0まで押し込んだ状態で2秒以上押し続けてください。カウントダウンが作動中にリユーズを1度押すとカウントダウンが再スタートします。

#### アラームをON/OFFにする:

アラームをONまたはOFFにするには、アラームAL機能を選択してリユーズを押します。

リユーズを押すと、アラームがONまたはOFFのいずれの状態であるかがディスプレイに表示されます。

ALがディスプレイに表示されている場合は、ONになっていてセットされた時間にアラームが鳴ります。

OFがディスプレイに表示されている場合は、アラームがOFFになっています。

アラームが鳴っている時に音を止めるには、リユーズを押してください。

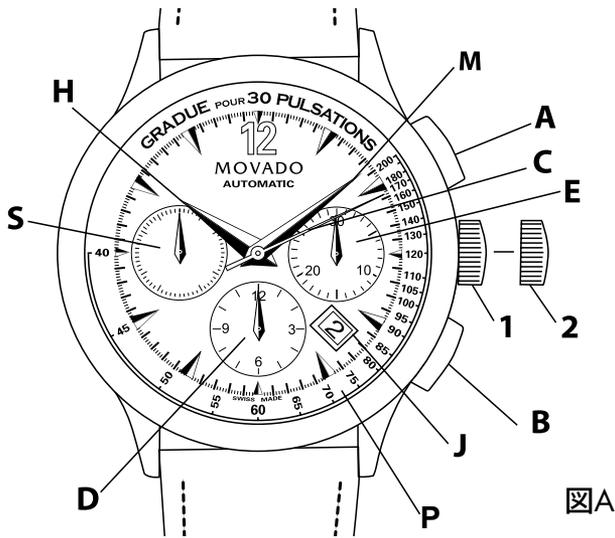
ご注意: アラームのセット時と、アラームが鳴るようセットする時間を読み取る際には、12時間モード(AM/PM)と24時間モードのどちらかで時刻が表示されているかに注意してください。

#### アラームのテスト:

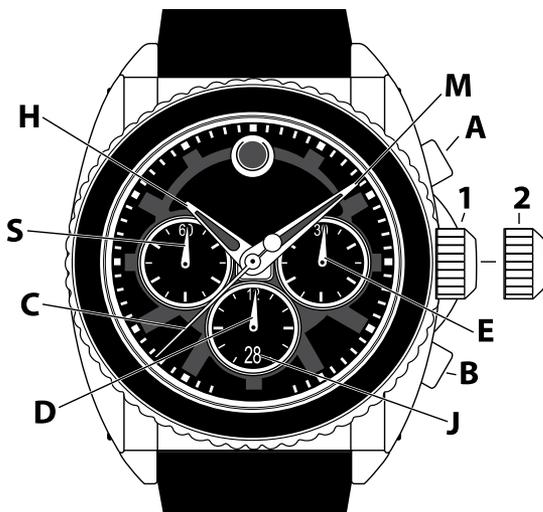
アラームAL機能を選択し、リユーズを2秒以上押し続けます。アラームが鳴り出します。リユーズを放すとアラームのテストは停止します。

## ⑩ クオーツクロノグラフ 1/1秒 - タイプA

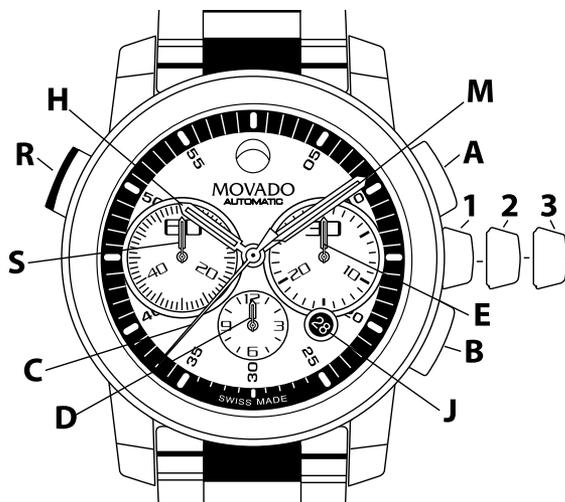
オリジナル Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Master (モバード マスター)、  
Vizio (ビジオ) 自動巻クロノグラフを含む



図A



図B



図C

### 説明:

H - 時針

M - 分針

S - スモールセコンド針

C - クロノグラフ秒カウンター

D - クロノグラフ12時間計

E - クロノグラフ30分計

J - 日付表示

P - 30拍パルスメーター・目盛り

1, 2, 3 - リューズの位置

A - クロノグラフ プッシュボタン(スタート/ストップ)

B - クロノグラフ プッシュボタン(スプリットタイム/  
リセット)

R - クイック日付修正

これらの自動巻クロノグラフモデルには、27石入りの優れたスイス製ムーブメントが搭載されており、48時間のパワーリザーブ、分カウンター(30分まで)、時カウンター、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示を備えています。一部のモデルはクイック日付修正ボタンを備えており、また他の限定モデルには心拍測定用のベゼル・スケールが付いていて脈拍を計算することができます。これらのモデルではすべて、1秒単位で、最長12時間30分29秒までの計時が可能です。

ご注意:自動巻時計は、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。しかしながら、時計を48時間以上着用せずに時計が停止した場合は、時刻合わせを行う前またはクロノグラフの機能を作動する前に、クロノグラフムーブメントを巻き上げる必要があります:

1. ポジション1でリューズを時計回りに約20回まわします。
2. 以下の指示に従って時刻を合わせます。

## ⑩クオーツクロノグラフ 1/1秒 – タイプA

オリジナル Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Master (モバード マスター)、  
Vizio (ビジオ) 自動巻クロノグラフを含む

### 時刻/日付合わせ

#### 時刻合わせ:

1. リューズをポジション2まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して針を希望の時刻に合わせます。日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
3. 操作を終えたらリューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

#### リューズを用いた日付のクイック調整:

(図Aおよび図Bを参照)

1. リューズをポジション2まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズを回し、午後9時(21時)と午前0時(24時)の直後の間で針を前後に動かします。針が夜の12時に達するたびに日付が1日ずつ進みます。
3. 日付窓Jに正しい日付が表示されたら、リューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

#### 修正ボタンを用いた日付のクイック調整

(限定モデルのみ): (図Cを参照)

重要: 時計が自動日付変更中の午後8時30分(20時30分)から午後11時(23時)までの間は日付修正ボタンを使用しないでください。ムーブメントが故障する原因となります。

1. ケース側面の10時位置にある日付修正ボタンRを押します。ボタンRを押して放すたびに、日付窓Jに表示される日付が1日ずつ進みます。

### クロノグラフの機能

#### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとボタンBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。クロノグラフ機能の作動中は、3つのクロノグラフ針が連続的に動き、経過秒数(針C)、最長30分までの経過分数(針E)、最長12時間までの経過時間数(針

D)を示します。再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。ボタンBを押すと、針C、E、およびDがゼロにリセットされます。

重要: クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。必要に応じて、ボタンBを押してゼロにリセットしてください。リューズがポジション1まで引き出されている時にはクロノグラフを使用しないでください。

水中ではクロノグラフボタンAとBを操作しないでください。

ご注意: 針Sは通常の秒針であり、クロノグラフ機能用の針ではありません。従ってこの針は、リューズがポジション1にある時は作動し続けます。

#### 単純計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。
3. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

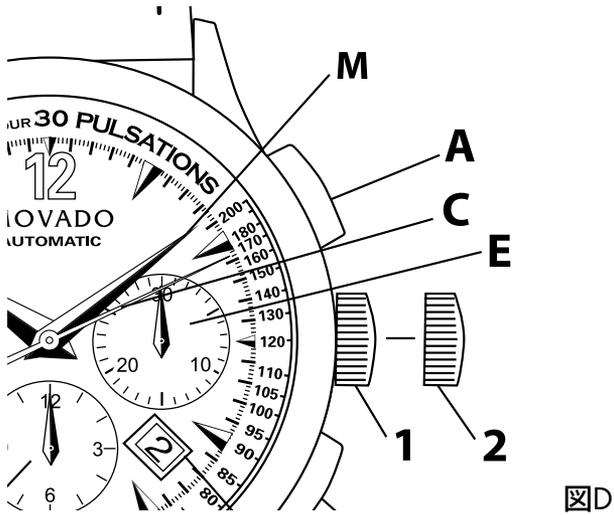
#### 積算計時機能:

連続する競技の合計タイムを計測するには(例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など):

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
  2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。
  3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
  4. 再度ボタンAを押すと、再びクロノグラフが停止します。
- ご注意: クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。
5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を加算します。
  6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑩ クオーツ クロノグラフ 1/1秒 - タイプA

オリジナル Movado Circa (モバード サーカ)、Movado Master (モバード マスター)、  
Vizio (ビジオ) 自動巻クロノグラフを含む



図D

心拍レートを計測するには(限定モデルのみ):

(図Dを参照)

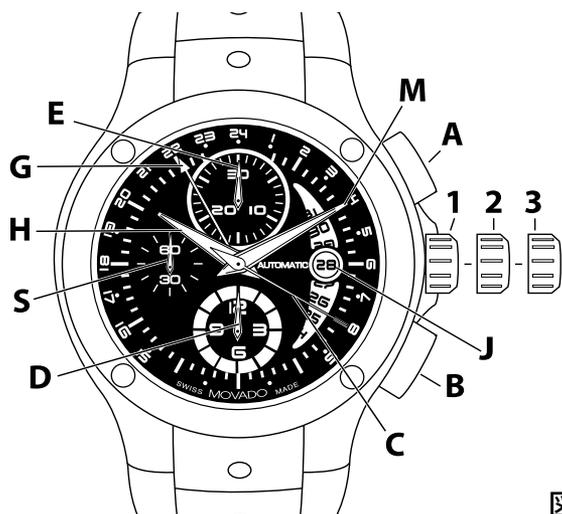
モバードの自動巻クロノグラフは、クロノグラフ秒針Cを用いて心拍レートを計測するための目盛り付インナーベゼルリングを備えている場合があります。クロノグラフ秒針Cを用いて心拍レートを計測するためのインナーベゼルリング:

1. 必要に応じてボタンBを押し、クロノグラフをゼロにリセットしてください。
2. 脈拍を見つけます。
3. ボタンAを押し、脈拍を30回カウントしたら直ちにもう一度ボタンAを押します。
4. 目盛り付きのインナーベゼルリング上でクロノグラフ秒針Cが示す数字が、心拍レート数(拍/分)です。例えば、9秒 = 200拍/分、45秒 = 40拍/分となります。
5. ボタンBを押してすべてのクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑰ 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 - タイプB

新しいSE自動巻クロノグラフを含む



図A

#### 説明:

H - 時針

M - 分針

S - スモールセコンド針

C - クロノグラフ秒カウンター

G - 24時間針 (先端に矢印のついた中央の針)

D - クロノグラフ12時間計

E - クロノグラフ30分計

J - 日付表示

1, 2, 3 - リューズの位置

A - クロノグラフ プッシュボタン (スタート/ストップ)

B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/  
リセット)

これらの自動巻クロノグラフモデルには、25石入りの優れたスイス製ムーブメントが搭載されており、48時間のパワーリザーブ、分カウンター (30分まで)、時カウンター、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示を備えています。これらのモデルは、1秒単位で最長12時間30分59秒までの計時が可能です。

ご注意: 自動巻時計は、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。しかしながら、時計を48時間以上着用せずに時計が停止した場合は、時刻合わせを行う前またはクロノグラフの機能を作動する前に、手動でクロノグラフムーブメントを巻き上げる必要があります。

1. ポジション1でリューズをケースに押し込み、時計回りに20回ほど回します。
2. 下記の指示に従って時刻を合わせます。

#### 時刻/日付合わせ

##### 時刻合わせ:

1. リューズをポジション3まで引き出します。時計は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して針を希望の時刻に合わせます。日付が正午ではなく午前0時に変わることを確認してください。
3. 操作を終えたらリューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始めます。

##### 日付のクイック調整:

重要: 時計が自動日付変更中の午後8時 (20時) から午前2時 (2時) までの間は日付のクイック調整を行わないでください。ムーブメントが故障する原因となります。

1. リューズをポジション2まで引き出します。
2. リューズを時計回りに回して日付Jを変更します。  
ご注意: 反対方向の反時計回りに回すと24時間針Gが調整されます。
3. 日付窓Jに正しい日付が表示されたら、リューズをポジション1に押し戻します。

#### クロノグラフの機能

##### 概要

クロノグラフの操作にはボタンAとボタンBを使用します。最初にボタンAを押すとクロノグラフがスタートします。クロノグラフ機能の作動中は、3つのクロノグラフ針が連続的に動き、経過秒数 (針C)、最長30分までの経過分数 (針E)、最長12時間までの経過時間数 (針D)を示します。再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。ボタンBを押すと、針C、E、およびDがゼロにリセットされます。

## ⑰ 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 – タイプB

新しいSE自動巻クロノグラフを含む

重要:クロノグラフをスタートさせる前に、リューズがポジション1、クロノグラフ針がゼロの位置になっている必要があります。必要に応じて、ボタンBを押してゼロにリセットしてください。リューズが2または3の位置まで引き出されているときは、クロノグラフを使用しないでください。水中ではクロノグラフボタンAとBを操作しないでください。

ご注意:針Sは通常の秒針であり、クロノグラフ機能用の針ではありません。従ってこの針は、リューズがポジション1にある時には動き続けます。

#### 単純計時機能:

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。
3. ボタンBを押してクロノグラフをゼロにリセットします。

#### 積算計時機能:

連続する競技の合計タイムを計測するには(例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など):

1. ボタンAを押してクロノグラフをスタートします。
2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフが停止します。
3. もう一度ボタンAを押して計測を再開します。
4. 再度ボタンAを押すと、再びクロノグラフが停止します。

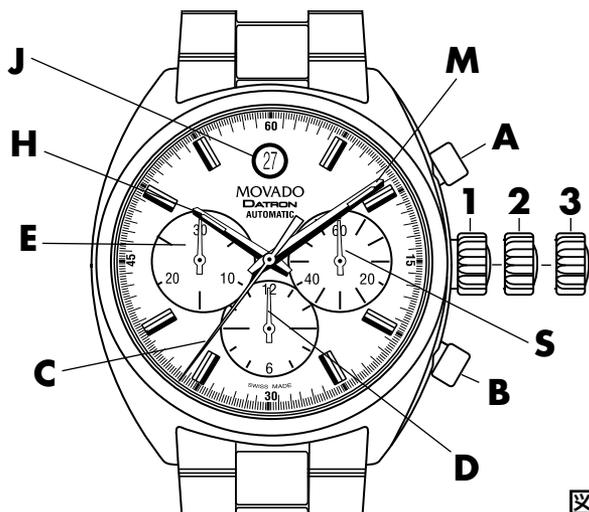
ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。

5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を加算します。
6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ⑱ 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 - タイプC

新型 Datron (デイトロン) 自動巻クロノグラフを含む



図A

#### 説明:

H - 時針

M - 分針

S - スモールセコンド針

C - クロノグラフ秒カウンター

D - クロノグラフ12時間カウンター

E - クロノグラフ30分カウンター

J - 日付表示

1、2、3 - リューズの位置

A - クロノグラフ プッシュボタン (スタート/ストップ)

B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/リセット)

これらの自動巻クロノグラフ モデルには、37石入りの優れたスイス製ムーブメントが搭載されており、48時間のパワーリザーブ、分カウンター(30分まで)、時間カウンター(12時間まで)、スモールセコンドのサブダイヤル、中央のクロノグラフ秒針、および日付表示を備えています。これらのクロノグラフは、12時間、30分、59秒までの事象の経過時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。

ご注意:自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、時計を48時間以上着用せず、時計が停止した場

合は、時刻合わせまたはクロノグラフ機能の操作を行う前に、手動でクロノグラフのムーブメントを巻き上げる必要があります:

1. 1の位置でケースに寄せてリューズを時計回りに20回ほど回します。
2. 以下の説明に従って時刻を合わせます。

#### 時刻/日付の設定

##### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。日付が正午ではなく深夜零時に変わることを確認してください。
3. リューズを1の位置に引き出します。時計が再び動き始めます。

##### 日付をすばやく合わせるには:

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. リューズをいずれかの方向に回して日付を合わせます。
3. 窓Jに正しい日付が表示されたら、リューズを1の位置に押し戻します。

#### クロノグラフ機能

##### 概要

クロノグラフの操作には、ボタンAとBを使用します。最初にボタンAを押すと、クロノグラフがスタートします。クロノグラフ機能の作動中は、3つのクロノグラフ針が連続的に動き、経過秒数(針C)、最長30分までの経過分數(針E)、最長12時間までの経過時間數(針D)を示します。再度ボタンAを押すと、クロノグラフがストップします。ボタンBを押すと、針C、E、Dがゼロにリセットされます。

## ⑱ 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 - タイプC

新型 Datron (デイトロン) 自動巻クロノグラフを含む

重要:クロノグラフをスタートさせる前に、リューズを1の位置、クロノグラフの針がゼロの位置になっている必要があります。必要に応じて、ボタンBを押してゼロにリセットしてください。リューズが2または3の位置まで引き出されているときは、クロノグラフを使用しないでください。水中ではクロノグラフボタンAとBを操作しないでください。

ご注意: 針Sは通常の秒針であり、クロノグラフ機能用の針ではありません。そのためこの針は、リューズが1の位置にあるときは作動し続けます。

#### 単純計時機能:

1. ボタンAを押して、クロノグラフをスタートします。
2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフがストップするので、経過時間を読み取ります。
3. 再度ボタンBを押して、クロノグラフをゼロにリセットします。

#### 積算計時機能:

連続する競技の合計タイムを計測するには (例えば何度もプレーが中断されるサッカーの試合での実際のプレー時間など):

1. ボタンAを押して、クロノグラフをスタートします。
2. 再度ボタンAを押すと、クロノグラフがストップします。
3. もう一度ボタンAを押して、計測を再開します。
4. 再度ボタンAを押すと、再びクロノグラフがストップします。

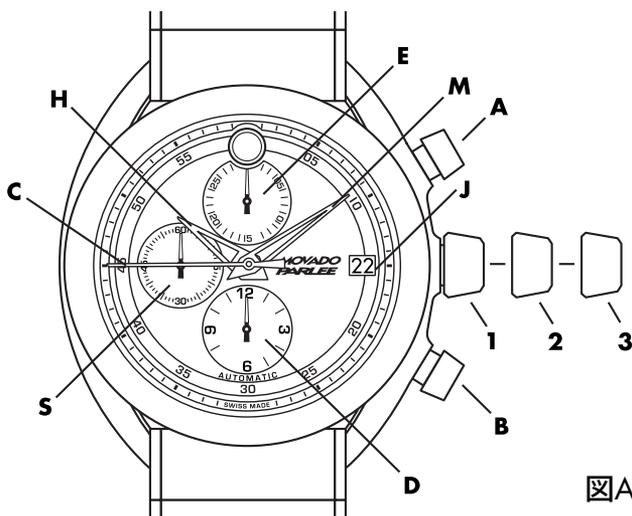
ご注意: クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフ針は合計積算時間を表示します。

5. ステップ1と2を繰り返して、各経過時間を加算します。
6. 最終的な積算時間の読み取りを行ったら、ボタンBを押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

## ①9 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 - タイプD

SE Extreme (SE エクストリーム) と限定版 Movado Parlee (モバード パーリー) 自動巻クロノグラフを含む



図A

#### 凡例:

H - 時針

M - 分針

S - スモールセコンド針

C - クロノグラフ秒針カウンター

D - クロノグラフ 12 時間カウンター

E - クロノグラフ 30 分カウンター

J - 日付表示

1, 2, 3 - リューズの位置

A - クロノグラフ プッシュボタン (開始/停止)

B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/リセット)

これらの自動巻クロノグラフは、高級な25石ETA口径A07.211自動巻メカニカルクロノグラフムーブメント、48時間の予備電源、分カウンター (30分まで)、時間カウンター (12時間まで)、スモールセコンドサブダイヤル、中央に付いたクロノグラフ秒針、日付表示を備えています。これらは12時間、30分および59秒までの事象の経過時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。

#### 手巻/ねじ込み式のリューズ (スクリューダウンクラウン)

自動巻クロノグラフのムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、48時間以上時計を着用せず時計が停止した場合は、時刻/日付を合わせるかクロノグラフ機能を操作

する前にねじ込み式のリューズのロックを解除して (一部のモデル)、手で時計のぜんまいを巻く必要があります:

#### 時計のぜんまいを手で巻くには:

1. ねじ込み式のリューズがついたモデルで、リューズを左回りに6回ほど回してロックを解除します。
2. ロックを解除したリューズを1の位置にして、リューズを時計回りに20回ほど回してムーブメントのぜんまいを巻きます。
3. 以下の説明に従って時刻/日付をリセットします。

ご注意:時刻/日付を合わせたら、耐水性を確保するために、一部のモデルについているねじ込み式のリューズをケースにねじ込む必要があります。抵抗を感じ始めるまで、リューズを右回りに6回ほど回しながらそつと押し込みます。硬く締めすぎないようにしてください。

#### 時刻/日付合わせ

##### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して針を希望する時刻に合わせます。表示された日付が正午ではなく深夜零時に変わることを確認してください。  
ご注意:時刻を合わせるときには、深夜0時を過ぎるたびに日付が1日進みます。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再度動き出します。

##### 日付のクイック調整:

警告:すべてのメカニカル腕時計にはカレンダー機能が搭載されているため、ダイヤルに示された時刻が午後9時 (21:00) から午前3時 (03:00) の間に日付のクイック調整を行わないでください。メカニズムが損傷する恐れがあります:

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. リューズを右回りに回して日付を変更します。
3. ウィンドウに正しい日付が表示されたら、リューズを1の位置に押し戻してねじ込みます。

## ⑱ 自動巻クロノグラフ

### 1/1秒 - タイプD

SE Extreme (SE エクストリーム) と限定版 Movado Parlee (モバード パーリー) 自動巻クロノグラフを含む

#### クロノグラフ機能

##### 概要:

ボタンAとBを使用してクロノグラフを操作します。ボタンAを初めて押すとクロノグラフが開始します。クロノグラフが作動中には3つのクロノグラフ カウンター針が継続的に動いて、現在の経過時間の秒数 (針 C)、30分までの分数 (針 E)、12時間までの時間 (針 D) を示します。ボタンAをもう一度押すとクロノグラフが停止します。ボタンBを押すと、針C、E、Dが0にリセットされます。

**重要:**クロノグラフを開始する前に、リューズが1の位置になり、針が0になっていなければなりません。必要な場合はボタンBを押して、クロノグラフを0にリセットします。リューズが2または3の位置に引き出されているときには、クロノグラフを使わないでください。時計が水中にあるときには、クロノグラフのボタンAとBを操作しないでください。

**ご注意:**針Sは通常の計時のための秒針です。クロノグラフ機能の一部ではないので、リューズが1の位置にあるときには継続的に作動します。

##### シンプルなクロノグラフ機能:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。
3. ボタンBを押して、クロノグラフを0にリセットします。

##### 積算計時機能:

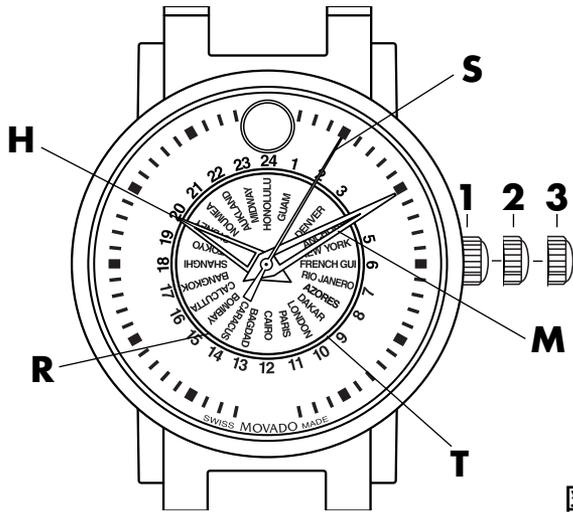
競技が繰り返し中断されるフットボールゲームの実際の試合時間など、一連の短い事象の合計時間を計測するには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。
3. ボタンAをもう一度押して計測を再開します。
4. ボタンAをさらにもう一度押して、クロノグラフを停止して、合計経過時間を読みます。  
ご注意:クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフの針は合計積算時間を示します。
5. 時間の間隔を追加するには、ステップ1と2を繰り返します。
6. 最終の積算時間を読み取ったら、ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

## ㊦ 自動3針モデル

### 回転式24時間ユニバーサルタイム表示付き

Movado Red Label Calendomatic (モバード レッドラベル カレンドマチック) ユニバーサルタイム モデル



図A

#### 説明:

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

R - 回転するワールドユニバーサルタイムディスクの都市名

T - 固定された24時間形式ユニバーサルタイム表示スケール

#### リューズの位置:

ポジション1 - 通常の作動/手巻きの位置。

リューズをケースに押し込んだ状態。

ポジション2 - ユニバーサルタイムディスクのクイック時刻調整。

ポジション3 - 時刻合わせ。

これらの自動巻モデルには、ユニークな回転式のユニバーサルタイム表示付きの高級なスイス製ムーブメントが搭載されています。現地時刻は時針H、分針Mで示され、世界の都市名が記載された回転するディスクRと、固定された24時間スケールTが世界中の24のタイムゾーンの現在時刻をエレガントに常設表示します。

ご注意:モバード高級自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、時計を38時間以上着用せず、時計が停止した場合は、現地時間の時刻合わせまたはユニバーサルタイムの表示の設定を行う前に、手動で時計を巻き上げる必要があります:

1. 1の位置でケースに寄せてリューズを時計回りに20回ほど回します。
2. 以下の説明に従って時刻とユニバーサルタイムを合わせます。

#### 時刻合わせ:

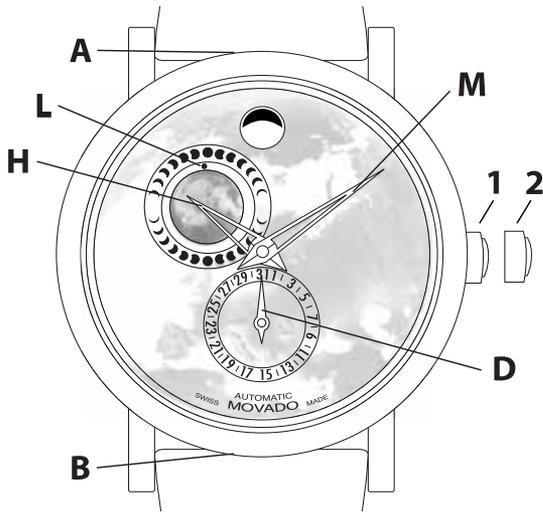
1. リューズを3の位置に引き出します。時計は停止します。
2. リューズをいずれかの方向に回して希望する時間に針を合わせます。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

#### ユニバーサルタイムの表示を修正するには:

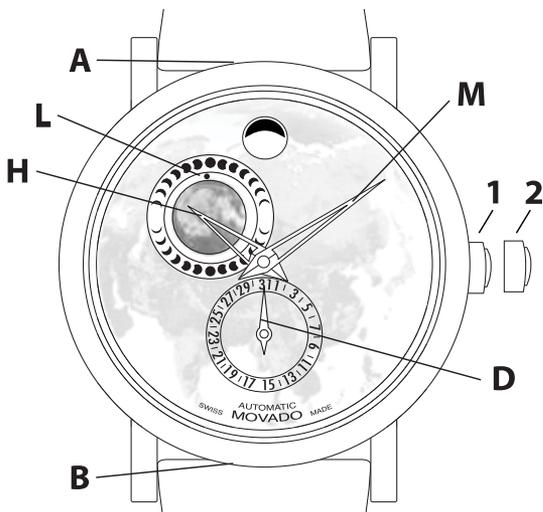
1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
2. リューズをいずれかの方向に回して、スケールTで最も近い主要都市がタイムゾーンの現在時刻と揃うまで、ディスクRを回転させます。スケールTに24の世界の主要都市のそれぞれの現在時刻が示されます。
3. ユニバーサルタイムの表示が正しく調整されたら、リューズを1の位置に押し戻します。

## ②1 自動2針モデル ムーンフェイスディスクと日付表示付き

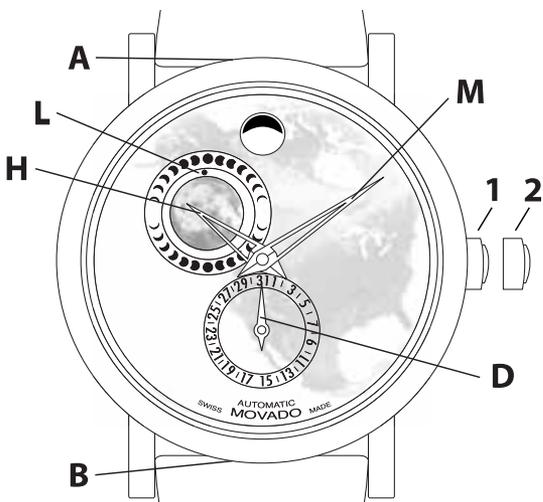
Movado Red Label Planisphere (モバード レッドラベル プラニスフィア) を含む



図A



図B



図C

### 説明:

H - 時針  
M - 分針  
L - 2か月ムーンフェイス表示  
D - 日付表示

A - ムーンフェイス修正ボタン  
B - 日付修正ボタン

### リューズの位置:

ポジション1 - 通常の作動/手巻きの位置。

リューズをケースに押し込んだ状態。

ポジション2 - 時刻合わせ。

ご注意:モバード高級自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、時計を38時間以上着用せず、ムーブメントが停止した場合は、時刻合わせまたは表示の設定を行う前に、手動でこれを巻き上げる必要があります。

### 自動巻ムーブメントを手動で巻き上げるには:

1. 1の位置でリューズを時計回りに20回ほど回します。
2. 以下の説明に従って時刻を合わせます。

### 時刻合わせ:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。表示された日付が正午ではなく深夜零時に変わることを確認してください。
3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

重要: 自動日付変更中は午後4時30 (16:30時) と午前1時(1時)分から午前1時の間に日付修正ボタンまたはムーンフェイス修正ボタンを使用しないでください。この間に設定すると、ムーブメントが損傷する可能性があります。

## ②1 自動2針モデル ムーンフェイスディスクと日付表示付き

Movado Red Label Planisphere (モバード レッドラベル プラニスフィア) を含む

### ムーンフェイス表示の修正:

ご注意:これらのモデルは、2か月用のムーンフェイス表示を備え、サブダイヤルLで1つの公転を完了するのに、ムーンフェイスディスクでは59日かかります(2つの満月と2つの新月を循環)。

付属の修正ツールの細い先端を使って、ケースの上側の12時半の位置にあるムーンフェイス修正ボタンAを操作します。ボタンAを押して放すたびに、満月の絵を取り囲み12時に小さな点の付いたムーンフェイスサブダイヤル盤Lが1日ずつ進みます。59回押して放すと、ムーンフェイス盤に表された2太陰月を完全に一巡します。

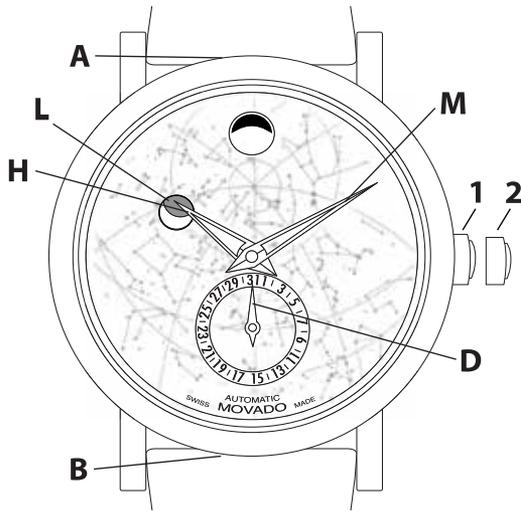
1. サブダイヤルLの満月の絵のすぐ上にある小さな点と、回転する外側のムーンフェイス盤にある2つの小さな満月のうちの1つが揃うまで、修正ボタンAを押して放します。
2. カレンダーで前回の満月の日付を調べて、次にその日から何日経過したか数えます。例えば、前回の満月が6日で今日が17日の場合は、11日経っています。
3. 前回の満月から経過した1日ごとに修正ボタンAを1回押して放します。外側の回転盤が進み、白い小さな点がサブダイヤルLの月の現在のフェイズと揃います。

### 日付のクイック調整:

付属の修正ツールの細い先端を使ってケースの下の部分の6時半の位置にある日付修正ボタンを押します。ボタンBを押して放すたびに、日付表示針Dが1日進みます。

## ②② 自動2針モデル ムーンフェイス窓と日付表示付き

Movado Red Label Skymap (モバード レッドラベル スカイマップ) を含む



図A

### 説明:

H - 時針

M - 分針

L - ムーンフェイス窓

D - 日付表示

A - ムーンフェイス修正ボタン

B - 日付修正ボタン

### リューズの位置:

ポジション1 - 通常の作動/手巻きの位置。

リューズをケースに押し込んだ状態。

ポジション2 - 時刻合わせ。

ご注意: Movado高級自動巻時計のムーブメントは、通常の日常生活での腕の動きによって十分に巻き上げられます。ただし、時計を38時間以上着用せず、ムーブメントが停止した場合は、時刻合わせまたは表示の設定を行う前に、手動でこれを巻き上げる必要があります。

### 自動巻ムーブメントを手動で巻き上げるには:

1. ポジション1でリューズを時計回りに20回ほど回します。
2. 以下の説明に従って時刻を合わせます。

### 時刻合わせ:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は停止します。
  2. リューズをどちらかの方向に回して希望する時刻に合わせます。表示された日付が正午ではなく深夜零時に変わることを確認してください。
  3. リューズをポジション1に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。
- 重要: 自動日付変更中は午後4時30 (16:30時) と午前1時(1時)分から午前1時の間に日付修正ボタンまたはムーンフェイス修正ボタンを使用しないでください。この間に設定すると、ムーブメントが損傷する可能性があります。

### ムーンフェイス表示の修正:

付属の修正ツールの細い先端を使って、ケースの上側の12時半の位置にあるムーンフェイス修正ボタンAを操作します。ボタンAを押して放すたびに、ムーンフェイス窓Lの月の指標が1日ずつ進みます。28回押し放すと、1太陰月を一周します。

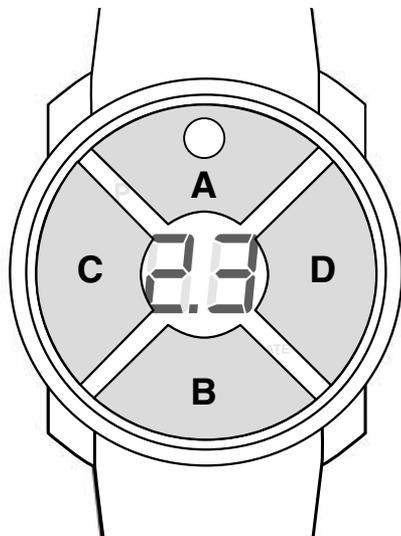
1. 窓Lに満月(白)の絵が表示されるまで修正ボタンAを押して放します。
2. カレンダーで前回の満月の日付を調べて、次にその日から何日経過したか数えます。例えば、前回の満月が6日で今日が17日の場合は、11日経過しています。
3. 前回の満月から経過した1日ごとに修正ボタンAを1回押し放します。月の現在の相が窓Lに表示されます。

### 日付のクイック調整:

付属の修正ツールの細い先端を使って、ケースの下側の午後6時30の位置にある日付修正ボタンBを操作します。ボタンBを1回押し放すと、日付表示針Dの数字が1つ進みます。

## ②③ デジタル LED タッチスクリーン モデル デュアルタイムゾーンと月/日付表示付き

Movado BOLD Touch(モバード ボールド タッチ) モデルを含む



これらのデュアルタイム デジタルウォッチモードでは、TIME1、TIME2、DATEの3つの機能を備えた革新的なタッチスクリーンの4桁のLEDディスプレイが使用されています。メインLEDディスプレイでは、TIMEモードは12時間形式、DATEモードは月/日形式で示されます。メインディスプレイの下にある3つの小さいLEDディスプレイの1つは、どのモードがアクティブになっているかを示します。タッチスクリーンのクリスタルは、指紋や汚れが付かないようにするために特殊加工されています。

図A

### タッチ領域

- A – オン/オフ
- B – 設定
- C – スワイプ
- D – スワイプ

ダイヤルの上のクリスタルには、4つのタッチ領域または四分円があります。

A – 時計をオンまたはオフにするには、12時付近をタッチします。

B – アクティブディスプレイを設定するには、6時付近をタッチします。

C/D – 1つの表示モードから別のモードに移動するには、指をいずれかの方向に水平にスワイプします：

図B

### モードの順序:

TIME1 (時間/分) ↔ TIME2 (時間/分) ↔

DATE (月/日付)

### 説明:

LED – メイン デジタル ディスプレイ

T1 – タイムゾーン1モード表示

T2 – タイムゾーン2モード表示

DA – 日付モード表示

P – PM表示 (モード設定でのみ表示されます)

## ② デジタル LED タッチスクリーン モデル デュアルタイムゾーンと月/日付表示付き

Movado BOLD Touch(モバード ボールド タッチ) モデルを含む

### 時計/タッチスクリーンの操作:

1. 時計をオンにするには、Aの領域の点をタッチして、LEDディスプレイが点灯するまで2秒ほど押さえたままにします。起動時にTIME 1が自動的に表示されます。

ご注意: オンになると、タッチスクリーンが5秒間タッチされていないといつも時計がスリープモードになり、LEDディスプレイが暗くなり、バッテリーを節電します。LEDディスプレイをウェイクアップさせるには、任意の領域をタッチします。

2. 3つの表示モード間を移動するには、CとDの領域に渡って指をいずれかの方向にスワイプします。
3. 時計をオフにするには、Aの領域の点をタッチして、LEDディスプレイに「bye」と表示され消灯するまで2秒ほど押さえたままにします。

ご注意: 5秒間LEDディスプレイが1日に5回アクティブになると、バッテリーの寿命は24か月です。より頻繁に操作を行うと、バッテリーの寿命が短くなります。

### 時刻/日付合わせ:

TIME 1、TIME 2、DATEの3つの表示モードのどれからでも設定モードに進むことができます:

1. 設定モードに入るには、Bの領域をタッチして、アクティブなLEDディスプレイモードで最初の2桁が点滅し始めるまで、2秒ほどタッチしたままにします。

ご注意: 表示が点滅中に画面が10秒間タッチされていない場合、モードの設定が終了され、通常の表示モードに戻ります。設定モードに戻るには、1のステップを繰り返します。

2. 点滅している数字を増やすには、CからDの領域に画面全体に指をスワイプし、数字を減らすにはDからCの領域にスワイプします。
3. 時間または月に、点滅中の新しい設定を確定するには、最初の2桁が点滅を停止するまで、Bの領域を1.5秒ほどタッチします。
4. 点滅している数字を増やすには、CからDの領域に画面全体に指をスワイプし、数字を減らすにはDからCの領域にスワイプします。
5. 分または日付に、点滅中の新しい設定を確定するには、最初の2桁が点滅を停止するまで、Bの領域を1.5秒ほどタッチして、設定モードの終了を確認します。

ご注意: 「P」はPMを示し、「Year」は時計が設定モードになっているときのみ表示されます(それぞれ時刻または日付用)。これらは、TIME 1、TIME 2、DATEの表示モードでは表示されません。

## ② デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル

Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ2) モデルを含む



図A

精密なデジタル クォーツ テクノロジーで作動するモバードが特許を保有する時計のデザイン。これらのモデルはフルドットマトリックスLCDディスプレイを装備しています。指でスワイプして多機能情報を表示する革新的なタッチスクリーンダイアルライト: 2つの形式による時間、ワールドタイム、ストップウォッチ、カウントダウンタイマー、ステップカウンター、自動カレンダー。米国特許番号D735,589

### 凡例:

D – フルドットマトリックス デジタル ディスプレイ  
L – ロック解除キー

### ダイアルアイコン/省略形:

▶ – 開始

⓪ – 終了

⌚ – リセット

🕒 – トップウォッチ/カウントダウンタイマー オン

🕒 – ストップウォッチ/カウントダウンタイマー オフ

DST – 夏時間

MS – メートル法: キロメートル

BS – 米国および英連邦システム: マイル

### ご使用方法

#### 概要

- 時計が作動中、LCD(液晶ディスプレイ)はオンのままになります
- 12時の位置にあるモバードのドットは「ロック解除キー」です
- モバードのドットに軽くタッチして2秒間長押ししてディスプレイのロックを解除して、日付と時刻を合わせたりモードを切り替えられます
- 設定で「オン」[ON] にすると、ディスプレイのロックが解除されるたびにELバックライトが2秒間照らされます

#### ディスプレイのロックを解除後:

- スクリーンの中央をタッチして2秒間長押しして設定にアクセスし変更するか、目標の歩数を設定します
- 上下にスワイプして操作モードを切り替えます
- 上下にスワイプしてモード内で表示を切り替えます
- ダイアルの右上をタップしてバックライトを2秒間点灯します (設定で「ON(オン)」にした場合)

#### 設定モード

1. 画面の中央をタッチして2秒間長押しして設定モードにアクセスします。
2. 「SETTINGS」(設定) をタッチして上か下にスワイプして、設定する項目の単語をタップします: 「TIME」(時刻)、「DATE」(日付)、「CITY」(都市)、「UNIT」(単位。MS または BS)、「DISPLAY」(ディスプレイ)、「SOUND」(サウンド)、または「BACKLIGHT」(バックライト)。

#### 時刻合わせ

1. 「TIME」(時刻) をタッチして時刻合わせモードにします。
2. 「12/24 HOUR」(12/24時間) をタッチして12/24時間形式にアクセスし、希望するいずれかの形式をタップして選択します。
3. 左にスワイプして時刻のメイン画面に戻ります。

## ②4 デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル

Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ2) モデルを含む

4. 「CURRENT TIME」(現在時刻) をタッチして時刻を合わせます。HOUR (時間) を表す数字をタッチして、上または下にスワイプして時間を合わせ、選択した値をタップして設定します。MINUTE (分) と SECONDS (秒) にこの順序で同じことを繰り返します。
5. 左にスワイプして時刻のメイン画面に戻ります。もう一度左にスワイプして設定リストに戻ります。

### 日付合わせ

1. 「DATE」(日付) をタッチして日付合わせモードにします。
2. 上か下にスワイプして月をタップして選択します。
3. 右にスワイプして、上か下にスワイプして日付をタップして選択します。
4. もう一度右にスワイプして、上か下にスワイプして年をタップして選択します。
5. 左に2回スワイプして設定リストに戻ります。

### 都市の設定

1. 「CITY」(都市) をタッチしてタイムゾーン設定モードにアクセスします。
2. 「CITY」(都市) をタップして選択し、リストを上か下にスワイプして、該当するタイムゾーンの都市名をタップして選択して、左にタップして前の画面に戻ります。
3. 「DST」(夏時間) をタップして選択し、タップして夏時間を「ON」(オン) または「OFF」(オフ) にします。
4. もう一度左にスワイプして設定リストに戻ります。

### 単位

1. 「UNIT」(単位) をタッチして距離の計測画面にアクセスします。
2. キロメートルを選択するには「MS」、マイルを選択するには「BS」をタップします。
3. 左にスワイプして設定リストに戻ります。

### 表示

1. 「DISPLAY」(表示) をタッチしてアクティブな表示時間を設定します。
2. 「5 SECS」(5秒)、「10 SECS」(10秒)、「15 SECS」(15秒) のいずれかをタップして、画面にタッチしていないときに画面をロックしないままにする持続時間を設定します。
3. 左にスワイプして設定リストに戻ります。

### サウンドのアクティブ化

1. 「SOUNDS」(サウンド) をタッチしてサウンドのアクティブ化画面にアクセスします。
  2. 「ON」(オン) または「OFF」(オフ) をタップします。「ON」(オン) を選択するとサウンドが有効になります。
  3. 左にスワイプして設定リストに戻ります。
- ご注意: タイマーのアラームを鳴らすには、設定でサウンドが「ON」(オン) になっている必要があります。

### バックライトのアクティブ化

1. 「BACKLIGHT」(バックライト) をタッチしてバックライトのアクティブ化画面にアクセスします。
2. 「ON」(オン) または「OFF」(オフ) をタップします。「ON」(オン) を選択するとディスプレイのロックが解除されるたびに EL バックライトが2秒間照らされます。
3. 左にスワイプして設定リストに戻ります。

### 機能

下か上にスワイプして表示する順序で機能を循環します。  
右にスワイプして示されたとおりにタップして機能を使用します。

## ②4 デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル

Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ2) モデルを含む

### ホーム画面の表示オプション



時間形式 1



時間形式 2

### 時刻表示

1. ドットをタッチして2秒間長押しして画面のロックを解除します。
2. 左か右にスワイプして表示形式を選択します。

### 歩数計

0から4時間まで、0から99,999歩まで。



1. ▶ をタップ- 歩数カウントを開始します。



2. ❶ をタップ- 歩数カウントを停止します。

## ② デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル

Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ2) モデルを含む



3. 画面の下の  をタップして、毎日と毎週のアクティビティを切り替えます。
4. 左か右にスワイプして他の日付のアクティビティを確認します。

### カレンダー



2000から2099年までの月を一目でわかるように表示します。

1. 左か右にスワイプして表示する月を変更します。

### タイマー

設定するカウントダウンの時間の最後にアラームが鳴ります。23時間/59分/59.9秒まで設定できます。  
ご注意: アラームを鳴らすには、設定でサウンドが「ON」(オン) になっている必要があります。



1.  をタップして開始します。
2.  をタップして停止します。
3.  をタップしてカウントダウンを再開するか、 をタップしてタイマーをゼロにします。

## ②4 デジタル LCD フルドットマトリックス タッチスクリーン多機能モデル

Movado BOLD Touch 2 (モバード ボールド タッチ2) モデルを含む

### ストップウォッチ

事象を23時間/59分/59.9秒まで計測します。

記憶: 99周



1. ▶ をタップして開始します。(上の 👤 が 🏃 に変わります)
2. ⏸ をタップして停止し (🏃 が 👤 に変わります)、時間を読みます。
3. ▶ をタップして時間の計測を再開 (👤 が 🏃 に戻ります)するか、🔄 をタップしてストップウォッチを0にリセットします。

ご注意: 画面がロックされ(る)と、ストップウォッチはバックグラウンドで作動し続けます

### ワールドタイム

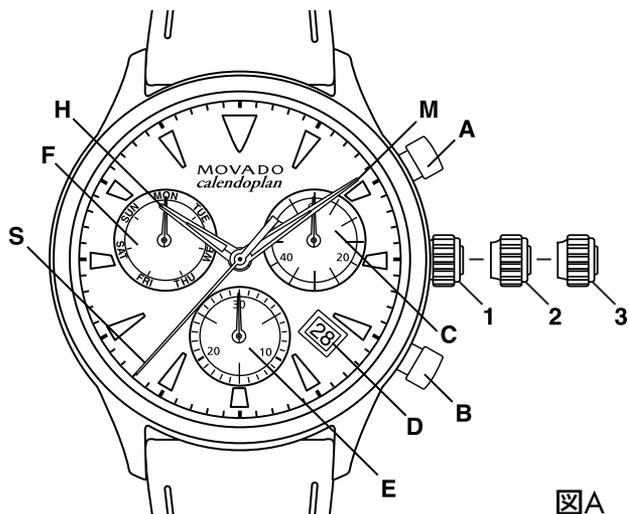


画面の上部に都市の名前が表示されます。

1. 右にスワイプして都市のリストを表示します。
2. 上か下にスワイプして都市をタップして選択します。
3. 左にスワイプして選択した都市の時刻と日付を表示します。

## ㊦ クオーツ クロノグラフ 1/1秒 - タイプC

Movado Heritage Series Calendoplan (モバード ヘリテッジ シリーズ カレンドプラン) クロノグラフ モデルを含む



図A

### 凡例:

H - 時針

M - 分針

S - スモールセカンド針

C - クロノグラフ秒カウンター

E - クロノグラフ30分カウンター

F - 曜日インジケーター

D - 日付ウィンドウ

1、2、3 - リューズの位置

A - クロノグラフ プッシュボタン (開始/停止)

B - クロノグラフ プッシュボタン (スプリットタイム/リセット)

これらのクロノグラフモデルには、中央に付いているクロノグラフの秒針、分カウンター (30分まで) サブダイヤル、スモールセカンドサブダイヤル、曜日インジケーター サブダイヤル、日付ウィンドウがついています。これらは30分までの事象の持続時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。

### 時刻/日付合わせ

#### 時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズをいずれかの方向に回して希望する時間に針を合わせます。

3. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再度動き出します。

#### 秒を正確に合わせて時刻を設定するには:

1. スモールセカンド針Sが <<60>> の位置になったら、リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズをどちらかの方向に回して時刻を合わせます。日付が正午ではなく深夜零時に変わることを確認してください。
3. 針を正しい時刻より少し進めてから、リューズを反時計回りにゆっくりと回して、分針を正しい分マーカーに合わせます。
4. 正確な時報 (たとえば、ラジオの時報) を使用します。聞こえる音の時報が正確な時間を伝えたら、リューズを1の位置に押し戻します。時計が再び動き始め、正しい時刻が設定されました。

#### 日付のクイック調整:

1. リューズを2の位置に引き出します。時計は動き続けます。
  2. Dの下に正しい日付が表示されるまで、リューズを時計回りに回します。
  3. リューズを1の位置に押し戻します。
- ご注意: 日付の自動変更が進行中の午後9時45分から午前0時0分の間の日付を調整すると、翌日の日付が設定されます。これらの時間中にクイック調整を使って日付を合わせた場合は、深夜0時に日付が自動的に進みません。

#### 日付、曜日、時刻を合わせるには:

- 例: 時計の日付/時刻が: [17] 01:25/MONになっていて現在の日付/時刻が [23] 20:35/THUの場合
1. リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
  2. サブダイヤルFが昨日の曜日 (WED) を示すまでリューズを時計回りに回します。
  3. リューズを2の位置に押し戻します。
  4. ウィンドウDの下に昨日の日付 (22) が表示されるまで、リューズを時計回りに回します。

## ②5 クオーツ クロノグラフ 1/1秒 – タイプC

Movado Heritage Series Calendoplan (モバード ヘリテッジ シリーズ カレンドプラン) クロノグラフ モデルを含む

5. リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
6. ウィンドウ D に正しい日付 (23) が表示され、サブダイヤル針Fが正しい曜日(THU) を示すまで、リューズを時計回りに回します。
7. 時針と分針が正しい時刻 (8:35 PM) を示すまでリューズを反時計回りに回し続けます。AM/PMに注意して設定してください。
8. リューズを1の位置に押し戻し、ケースにねじ込みます。

### クロノグラフ機能

#### 概要

ボタンAとBを使用してクロノグラフを操作します。ボタンAを初めて押すとクロノグラフが開始します。ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。ボタンAをもう一度押すとクロノグラフが再度開始します。ボタンBを押すとクロノグラフの針CとEが0にリセットされます。時刻を合わせるとクロノグラフは停止しませんが、リューズが引き出されている間はボタンAとBがブロックされます。

ご注意: クロノグラフを開始する前に、リューズが1の位置になり、針が0になっていなければなりません。ボタンBを押して、クロノグラフの針を0にリセットします。**重要:** リューズが2または3の位置に引き出されているときには、ボタンAまたはBを押さないでください。リューズをがケースに寄せられていないときに誤ってボタンAまたはBを作動させると、1つ以上のクロノグラフの針が同期しなくなることがあります。そうなった場合は、このセクションの終わりにあるクロノグラフの針の同期化の手順に従ってください。

#### シンプルなクロノグラフ機能:

単一の連続している事象の持続時間を計測するには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
2. もう一度ボタンAを押してクロノグラフを停止し、クロノグラフの2つの針で示される経過時間を読みます。例: 20分、38秒
3. ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

#### 積算時間機能:

競技が繰り返し中断されるフットボールゲームの実際の試合時間など、一連の短い事象の合計時間を計測するには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
  2. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。例: 15分、5秒
  3. ボタンAをもう一度押して計測を再開します。
  4. ボタンAをもう一度押して、新たな経過時間を読みます。例: 20分、17分。
- ご注意: クロノグラフを停止するたびに、クロノグラフの針は合計積算時間を示します。
5. 時間の間隔を追加するには、ステップ1と2を繰り返します。
  6. 最終の積算時間を読み取ったら、ボタンBを押してクロノグラフの針を0にリセットします。

#### スプリットタイムまたは中間時間機能:

レースの進行中に中間時間を計るには:

1. ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。
  2. ボタンBを押して、クロノグラフを一瞬停止します。
  3. 中間時間を読みます。例: 20分、17秒。
  4. ボタンBボタンを押して、クロノグラフ機能を再開します。クロノグラフの2つの針が進行中の事象にただちに追いつきます。
  5. 2番目のスプリットタイムを計るには、ボタンBをもう一度押します。
- 希望に応じてステップ2と4を繰り返して、さらにスプリットタイムを計ります。
6. ボタンAを押して、クロノグラフを停止します。
  7. 中間時間を読みます。例: 29分、7秒。
  8. ボタンBを押して、クロノグラフの針を0にリセットします。

## ②5 クオーツ クロノグラフ 1/1秒 – タイプC

Movado Heritage Series Calendoplan (モバード ヘリテッジ シリーズ カレンドプラン) クロノグラフ モデルを含む

### クロノグラフの針の同期化:

電池交換後またはエラーが起きた場合に、クロノグラフの1つまたは両方の針が0の位置に正しく揃うように手動で調整する必要があることがあります。

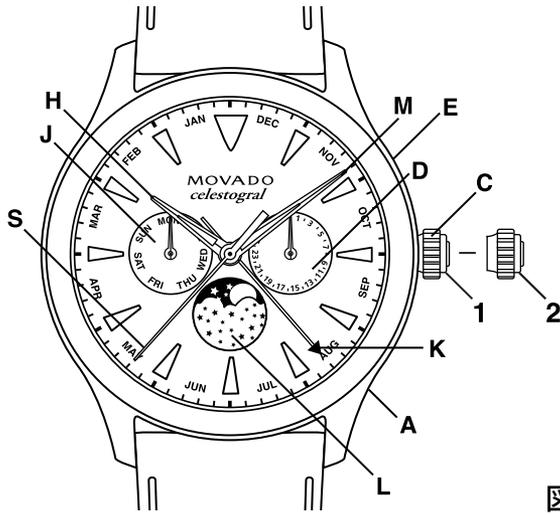
ご注意: 修正モードでは、プッシュボタンAを押して放すたびに、アクティブなクロノグラフの針が1刻みずつ進みます。針を速く進めるには、ボタンAを押したままにします。

リューズを1の位置に戻して、いつでも修正モードを終了できます。

1. リューズを3の位置に引き出します。
  2. プッシュボタンAとBを同時に少なくとも2秒押し続けて修正モードにします。クロノグラフの秒針Cが360°回転すると、修正モードになります。ボタンAとBを放します。
  3. プッシュボタンAを使って、中央に付いたクロノグラフの針Cを合わせます。
  4. 針Cが0の位置になったら、プッシュボタンBを押します。
  5. プッシュボタンAを押して分カウンター針Eを合わせます。
  6. 針Eが0の位置になったら、プッシュボタンBを押します。
  7. リューズを1の位置に押し戻します。
- これでクロノグラフ針は0の位置に同期され、クロノグラフが使用できる状態になります。

## ②6 クオーツ3針 ムーンフェイス/曜日/日付モデル タイプA

Movado Heritage Series Celestograf (モバード ヘリテッジ シリーズ セレストグラフ) 42mm モデルを含む



図A

### 凡例:

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

K - 月インジケーター針

D - 日付表示

J - 曜日表示

L - ムーンフェイス サブダイヤル

C - リューズ

1, 2 - リューズCの位置

A - 日付修正ボタン

E - 月インジケーター修正ボタン

これらの時計のダイヤルは、曜日、日付と月の現在の相を示す3つのサブダイヤル、および中央に付いた月インジケーター針を備えています。

重要: 午後11時半から午前5時半の間 (ブロック期間) に日付Dを合わせるためにボタンAを使ったり、自動カレンダーの変更が既に進行中に日曜から月曜 (ブロック期間) にボタンEを使用しないでください。メカニズムが損傷する恐れがあります。

設定の手順

設定順: ムーンフェイス → 日付 → 曜日 → 時間。

1. リューズCを2の位置に引き出します。時計が停止します。
2. ムーンフェイス サブダイヤルの上部に満月の絵が表示されるまで、リューズCを時計回りに回します。
3. リューズCを繰り返し時計回りに回し、次に午後10時から午前1時まで反時計回りに回して、曜日Jを前回の満月の日付に設定します。時間針と分針が深夜0時を過ぎるたびに、サブダイヤルの針Jが前回の満月の曜日を指すまで続けます。必要に応じて新聞やインターネットで満月の日の情報を入手してください。
4. 針HとMが午前6時を示すまで、リューズCを時計回りに回します。
5. 日付を合わせるには、サブダイヤルDが前回の満月の日付を示すまで、ボタンAを押します。下の図を参照してください。
6. 次にリューズCを時計回りに回して、サブダイヤルDが現在の日付を示すまで、時針と分針を進めます。
7. 針HとMが希望する時間を示すまで、リューズCを回し続けます。AM/PMに注意して設定してください。
8. ボタンEを押して月インジケーター針Kを設定します。ダイヤルの周辺のスケールで現在の月の初め、中旬、終わりを示すまで、ボタンを動かします。  
重要: 日曜から月曜までのブロック期間中は、日付を合わせないでください。
9. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再度動き出します。

### 日付のクイック調整:

サブダイヤルDが現在の日付を示すまで、ボタンAを押します。

重要: 午後11時30分から午前5時30分までのまでのブロック期間中は、日付を合わせないでください。

### 月のクイック調整:

月インジケーター針Kがダイヤルの端の周りの月スケールで正しい位置を示すまで、ボタンDを押します。

重要: 日曜から月曜までのブロック期間中は、月を合わせないでください。

## ㊤ クォーツ3針 ムーンフェイス/曜日/日付モデルータイプA

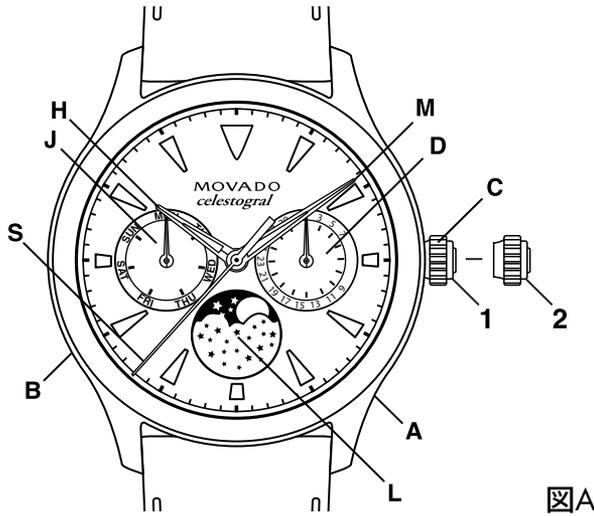
Movado Heritage Series Celestograf (モバード ヘリテッジ シリーズ セレストグラフ) 42mm モデルを含む

### 満月の日付:

	<u>2016</u>	<u>2017</u>	<u>2018</u>	<u>2019</u>
1月	24	12	02/31	21
2月	22	11	—	19
3月	23	12	02/31	21
4月	22	11	30	19
5月	21	10	29	18
6月	20	09	28	17
7月	19	09	27	16
8月	18	07	26	15
9月	16	06	25	14
10月	16	05	24	13
11月	14	04	23	12
12月	14	03	22	12

## ②7 クオーツ3針 ムーンフェイス/曜日/日付モデル タイプB

Movado Heritage Series Celestograf (モバード ヘリテッジ シリーズ セレストグラフ) 36mm モデルを含む



図A

### 凡例:

- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- D - 日付表示
- J - 曜日表示
- L - ムーンフェイス サブダイヤル
- 1, 2 - リューズCの位置
- A - 日付修正ボタン
- B - 曜日修正ボタン

これらの時計のダイヤルは、曜日、日付と月の現在の相を示す3つのサブダイヤルを備えています。

**重要:** 午後11時半から午前5時半の間 (ブロック期間) および自動カレンダーの変更が既に進行中にボタンAを使って日付Dを合わせたり、ボタンBを使って曜日Jを合わせないでください。メカニズムが損傷する恐れがあります。

### 設定の手順

設定順: ムーンフェイス → 曜日 → 日付 → 時間。

1. リューズCを2の位置に引き出します。時計が停止します。
2. ムーンフェイス サブダイヤルの上部に満月の絵が表示されるまで、リューズCを時計回りに回します。

3. 針HとMが午前6時を示すまで、リューズCを時計回りに回します。
4. クイック調整を使用して、ボタンAを押してサブダイヤルDの針を前回の満月の日付に合わせます。下の図を参照してください。
5. クイック調整を使用して、ボタンBを押してサブダイヤルJの針を現在の曜日に合わせます。
6. リューズCを時計回りに回し続けて、サブダイヤルDが現在の日付を示すまで、時針と分針を進めます。
7. 針HとMが正しい時間を示すまで、リューズCを回し続けます。AM/PMに注意して設定してください。
8. リューズを1の位置に押し戻します。時計が再度動き出します。

### 日付のクイック調整:

サブダイヤルDが現在の日付を示すまで、ボタンAを押します。

**重要:** 午後11時30分から午前5時30分までのまでのブロック期間中は、日付を合わせないでください。

### 曜日のクイック調整:

サブダイヤルJが現在の曜日表示を示すまで、ボタンBを押します。

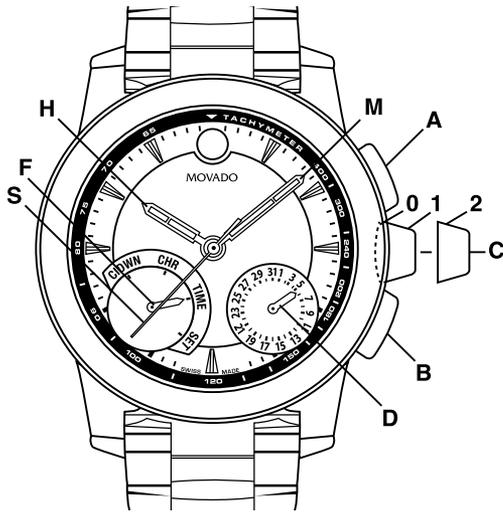
**重要:** 午後11時30分から午前5時30分までのまでのブロック期間中は、曜日を合わせないでください。

### 満月の日付:

	<u>2016</u>	<u>2017</u>	<u>2018</u>	<u>2019</u>
1月	24	12	02/31	21
2月	22	11	—	19
3月	23	12	02/31	21
4月	22	11	30	19
5月	21	10	29	18
6月	20	09	28	17
7月	19	09	27	16
8月	18	07	26	15
9月	16	06	25	14
10月	16	05	24	13
11月	14	04	23	12
12月	14	03	22	12

## ②8 メカトロニック多機能クロノグラフ

現地時間/万年カレンダー、フライバック クロノグラフとカウントダウン タイマー機能付き  
Vizio (ビジオ) 多機能クロノグラフ モデルを含む



図A

### 凡例:

- H - 時間針
- M - 分針
- S - 秒針
- F - モード/機能インジケータ
- D - 日付表示
- A - プッシュボタン
- B - プッシュボタン

### リューズの位置:

- 0 - ケースに押し込んだ状態
- 1 - ニュートラル位置
- 2 - 引き出した位置

メカトロニックムーブメントは双方向のマイクロモーターを使用してダイヤルの針とディスクのそれぞれを駆動し、革新的な新機能のモジュールを提供します。これらの多様なメカトロニックモデルは、中央に付いた時針、分針、秒針と、モードインジケータ、現地時間と万年カレンダーを備えた日付サブダイヤル、フライバッククロノグラフ、およびカウントダウンタイマー機能を備えています。クロノグラフモードでは、これらのモデルは12時間までの事象の持続時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。

### モードの概要

使用できるモードは、現地時間、クロノグラフ、カウントダウンタイマーです。デフォルトのモードおよび電池交換後に最初に表示されるモードは現地時間です。現地時間モードで指標と時間設定のサブ機能にアクセスできます。

### モードを切り替えるには:

モードを切り替えるには、リューズCを2回すばやく押し放します。次の順にモードが表示されます: LOCAL TIME (クロノグラフ) → CHRONOGRAPH (カウントダウンタイマー) → LOCAL TIME (現地時間)。

### 現地時間モード

このモードは、中央に付いたアナログの針で現地時間を時間、分、秒で表示します:

針Hは時間を示し、6分ごとに3°進みます。

針Mは分を示し、20秒ごとに2°進みます。

針Sは秒を示します。

モードサブダイヤルFの小さな針は“TIME”(時間)を示します。

日付サブダイヤルDの小さな針は現在の日付を示します。

現地時間モードで、サブ機能の指標(針を元の位置に戻す)と時間設定にアクセスできます:

### 指標モードにするには:

必要な場合、このモードを使って1つ以上の針を正確に合わせて精密な時間を表示できます:

1. ボタンAとBを同時に押し2秒以上押し続けたままにします。5つの針すべてがそれぞれの当初の位置に動きます。
  - 時針Hは“12”を示します
  - 分針Mは“12”を示します
  - 秒針Sは“12”を示します
  - サブダイヤルFの小さな針は“SET”(設定)を示します。
  - サブダイヤルDの小さな針は“31”を示します。

## ②⑧ メカトロニック多機能クロノグラフ

### 現地時間/万年カレンダー、フライバック クロノグラフとカウントダウン タイマー機能付き

Vizio (ビジオ) 多機能クロノグラフ モデルを含む

ご注意: 針は次の順に設定を示します: HOUR (時間)  
→ MINUTE (分) → SECONDS (秒) → MODE  
(モード) → DATE (日付)。

ボタンAをすばやく押し放し、アクティブな針を1刻み進めます (これは、時針Hは3°の調整、他のそれぞれの針は2°の調整となります。) またはボタンAを押し続けたままにして、アクティブな針を時計回りにすばやく進めます。

- すべての針がそれぞれの当初の位置に戻ったら、ボタンAを押して最初の針を合わせます。
- アクティブな針が希望する設定を示したら、ボタンBを押して放し、次の針に移ります。
- ボタンAを使用してアクティブな針を示すか合わせます。
- 残りの針でステップ3と4を繰り返します。

注意: リューズCを0の位置に押し込んで、いつでも指標モードを終了できます。

#### 時間設定モードにするには:

ご注意: 針/機能は次の順に設定されます: HOUR (時間) → MINUTE (分) → YEAR (年) → MONTH (月) → DATE (日付)。

- リューズCを1の位置から2の位置に引き出します。
- ボタンAを押して放し、アクティブな針を段階的に進めるか、ボタンAを押し続けたままにして、針をすばやく進めます。
- アクティブな針が希望する設定を示したら、ボタンBを押して放し、次の針に移ります。
- 残りの設定でステップ2と3を繰り返します。

注意: リューズCを1の位置に押し込んで、いつでも指標モードを終了できます。

#### 時間設定の表示:

##### 針S

針Sはその位置によって、設定のタイプを示します:

時間設定: 45' = AM、15' = PM

分設定: 30'

年設定: 55'

月設定: 00'

日付設定: 05'

##### 針H

- 年を設定するときには、針Hが年の最初の数字を示します。
- 他の設定では、針Hは時間を示します。

##### 針M

- 年を設定するときには、針Mが年の2番目の数字を示します。
- 他の設定では、針Mは時間を示します。

##### サブダイヤル針F

- “SET” (設定) を示します

##### サブダイヤル針D

- 月を設定するときには、針Dは月を示します。
- 他の設定では、針Dは日付を示します。

#### 年を設定するには:

- 年の最初の2桁の数字 (“20”) は設定する必要がありません。
- ボタンAを使って、年の4桁目から始めて、年の最後の2桁の数字を設定します。
- 針M (4桁目の数字を示します) とH (桁目の数字を示します)。両方の針は12時の位置から開始します。

ヒント: ボタンAを年の最後の2桁として設定したい合計の回数押し放します: “2001” を設定するには1回、“2010” を設定するには10回、“2016” を設定するには16回押し放します。

例: ボタンAを一度押しすると針Mが1:00に移動して年 “2001” を示します。

ボタンAを10回押しすると針Hが1:00に、針Mが12:00に移動して年 “2010” を示します。

ボタンAを16回押しすると針Mが6:00に移動中に針Hが1:00になり年 “2016” を示します。

針HとMが希望する年を示したら、ボタンBを押して年を設定し、月の設定に移ります。

ご注意: リセット/電池交換後に表示される時間

は、00H 00M 00Sとなり、日付は2000年1月1日に設定されるので、上記の時間設定の手順に従って時計をリセットする必要があります。

## ②⑧ メカトロニック多機能クロノグラフ

現地時間/万年カレンダー、フライバック クロノグラフとカウントダウン タイマー機能付き  
Vizio (ビジオ) 多機能クロノグラフ モデルを含む

### クロノグラフ モード

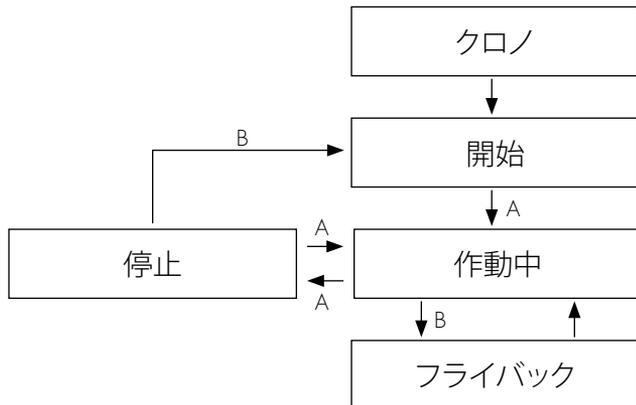
クロノグラフ モードでは、これらのモデルは12時間までの事象の持続時間を最も近い秒まで計測するのに使用できます。クロノグラフは11時間59分59秒連続して作動すると、自動的にリセットされます。

現地時間モードからクロノグラフ モードにするには、リユーズCを2回すばやく押して放します。

### クロノグラフの表示

使用できる表示モードは次の3つです：

- 開始/リセット：クロノグラフは現在作動中でないかリセットされています。
- 作動モード：クロノグラフが作動中です。
- 開始モード：クロノグラフが開始し停止しましたがリセットされていません。



### クロノグラフを操作するには：

ボタンAとBを使用してクロノグラフを操作します。  
開始/リセットの表示モードから：  
ボタンAを押して、クロノグラフを開始します。

作動中の表示モードから：

1. ボタンAをもう一度押して、クロノグラフを停止して経過時間を読みます。
2. またはボタンBを押してクロノグラフを再開します（フライバックモード）。

停止の表示モードから：

1. ボタンAをもう一度押してクロノグラフを再開し、作動モードに戻ります。
2. またはボタンBを押してクロノグラフを0にリセットします。

ご注意：クロノグラフが作動中または停止中に、リユーズCを2回押して、もう一度それを繰り返して、いつでも現地時間モードに切り替えられます：最初に2回押すとカウントダウンモードになり、もう一度2回押すと現地時間モードに戻ります。

### クロノグラフの表示の読み取り：

針Hは経過時間を示します。

針Mは経過した分数を示します。

針Sは経過した秒数を示します。

モードサブダイヤルFの小さな針は“CHR”（クロナ）を示します。

日付サブダイヤルDの小さな針は現在の日付を示します。

クロノグラフは11時間59分59秒連続して作動すると、自動的にリセットされます。

### カウントダウン モード

電子レンジのタイマーのように、カウントダウンタイマーは指定した長さの時間を監視するために設定し、その時間の終わりに音を鳴らして知らせます。例えば、積算2.5時間のサイクリングを追跡したり30分間のジョギングを計測するために使用できます。

## ②⑧ メカトロニック多機能クロノグラフ

### 現地時間/万年カレンダー、フライバック クロノグラフとカウントダウン タイマー機能付き

Vizio (ビジオ) 多機能クロノグラフ モデルを含む

クロノグラフモードからカウントダウン モードにするには、リュースCを2回すばやく押して放します。現地時間モードからカウントダウン モードにするには、リュースCを2回すばやく押して、もう一度それを繰り返します。最初に2回押すとクロノグラフ モードになり、もう一度2回押すとカウントダウン モードに戻ります。

#### カウントダウンの表示

カウントダウン タイマーを初めて使用/開始したとき、または電池交換後に、デフォルト値は次のように表示されます: 00H 00M 01S。その後、表示される初期値はユーザーが前回入力した設定になります。

#### カウントダウンの表示の読み取り:

針Hはカウントダウンの時間数を示します。

針Mはカウントダウンの分数を示します。

針Sはカウントダウンの秒数を示します。

モード サブダイヤルFの小さな針は "C/DWN" (カウントダウン) を示します。

カウントダウンの終わりに、日付サブダイヤルD の小さな針が31から15に動きます。それ以外は現在の日付が表示されます。

#### カウントダウン タイマーを設定するには:

ご注意: カウントダウンの値は次の順に設定されます: SECONDS (秒) → MINUTES (分) → HOURS (時間)。

1. リュースCを2の位置に引き出して秒の設定モードにします。
2. ボタンAを押して希望する数字が表示されるまで秒数を減らします。
3. またはボタンBを押して分の設定モードにします。
4. ボタンAを押して希望する数字が表示されるまで分数を減らします。
5. またはボタン Bを押して時間の設定モードにします。
6. ボタンAを押して希望する数字が表示されるまで時間の数を減らします。
7. リュースCを1の位置に押して設定を確定し、カウントダウン設定モードを終了します。

#### カウントダウン タイマーを操作するには:

1. ボタンAを押して、カウントダウンの計測を開始します。
2. ボタンAをもう一度押して、カウントダウンを停止します。(例えば、予定した2時間半のサイクリングの途中で休憩するとき。)

カウントダウン タイマーが停止モードになっている場合はいつでも次のいずれかを行えます:

3. ボタンAをもう一度押してカウントダウンを再開します (例えばサイクリングの時間の計測を再開する場合)。
4. またはボタンBを押してカウントダウンをリセットします。リセット後、針は前回のカウントダウンの設定を示します。

カウントダウンの終わりに、日付サブダイヤルD の針が31から15に動きます。

ご注意: カウントダウン タイマーが作動中でも停止中でも、いつでもリュースCを2回すばやく押して放し、現地時間モードに切り替えられます。

## 特徴

### ① 回転ベゼル

モバードの限定スポーツモデルは、経過時間を計測するための逆回転防止ベゼルの備えています。目盛りが彫り込まれたベゼルは反時計回りにのみ回転します。このベゼルを使用すると、例えば、シュノーケリングや同様のスポーツの計時において残り分数をモニターすることができます。

1. ベゼルの矢印マーカを分針の現在位置に合わせます。
2. 分針は文字盤上で進むため、これがベゼル上で指し示す数値は、計時が開始されてからの経過分数(1～59分)を表します。
3. ベゼルを使用しない時には、反時計回りに回してマーカが12時の位置に来るようにしてください。

## 特徴

### ㊦ ねじ込み式リューズ

モバードの多くのスポーツウォッチとクロノグラフは、特別なねじ込み式リューズを備えており、水や湿気からケースを保護します。時刻・日付合わせを行う時は、先ずねじ込み式リューズを反時計回りに回して緩め(約6回転)、ロックを解除します。

説明にしたがって時刻・日付合わせを完了したら、防水機能を確保するため、リューズをケース内にしっかりとねじ込んでください:

1. リューズをポジション1に戻し、ケースに押し込みます。
2. リューズをそっと押しながら時計回りに回します。
3. 抵抗を感じるまでリューズを回転します。締め付けすぎないようにしてください。

## 特徴

### ◎ 回転反射リング

Movado BOLD(モバード ボールド) の特定モデルには、経過時間の計測用に回転反射リングが搭載されています。クリスタルの下、2時の位置にあるねじ込み式リューズで調節する反射リングは、例えば、パーキングメーターに料金を投入した時間など、一定時刻からの経過時間を分単位でモニターするのに使用できます:

1. ねじ込み式反射リングのリューズのロックを解除するには、リューズが飛び出るまで、軽く押しながら、反時計方向に6回ほど回転させます。
2. 腕時計のダイアルの分針の現在位置と、反射リングの矢印マーカが揃うよう、いずれかの方向にリューズを回転させます。
3. 反射リングのリューズをねじ込んでケースに戻すには、軽くリューズを押しながら、抵抗を感じるまで時計方向に回転させます。締め過ぎないようにしてください。
4. 分針がダイアルの周囲を進み、それが反射リング上で指す数字が、時間の計測開始からの経過時間(1~59)を示します。
5. 使用中でない場合は、12時の位置に反射リングの矢印を合わせ、防水性を確保するため、反射リングがねじ込まれてケース内に元通りに収まっていることを確認します。

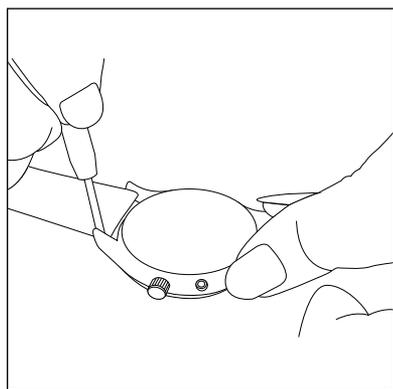
## 特徴

### ④ 交換可能なストラップ

Movado Heritage Series (モバード ヘリテッジ シリーズ)モデルを含む

一部のMovado (モバード) の腕時計のストラップは、Movado.comでお求めいただくアクセサリ ストラップに付属しているストラップ用の工具を使って簡単に交換できます。幅の狭い先端と幅の広い圧縮可能な中間部分を備えたネジ棒またはテンション スタイルのピンは、ラグの小さな穴を通してストラップを時計のケースに取り付けるのに使用します。

ストラップ用の工具の二股の端は、ピンのより広い部分に圧力を加え圧縮してストラップを取り外す、または取り付けるために使用します。尖った端を使用してストラップからピンを押し出します。新しいストラップで使用することができます。



図A

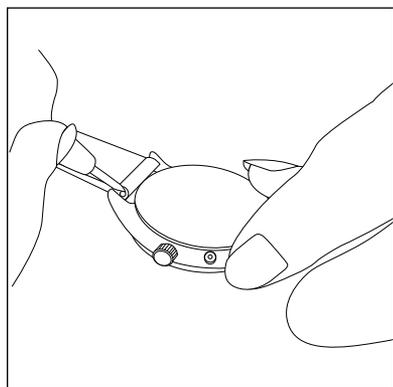
ストラップを取り外すには:

1. 時計を傷つけないように布または柔らかな表面の上に時計の面を下向きにして置いて、ストラップ用の工具の二股の端を時計のラグとストラップの間にしっかりと挿入します。図A。

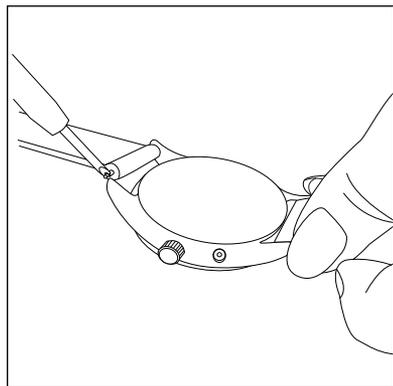
2. 横に圧力を加えて、ピンをストラップの中央に向けて圧縮します。図B。

3. ピンの先端がその側のラグの穴から外れたら、ストラップをそっと動かしてケースに通します。ピンのもう一方の端が反対側のラグの穴から簡単に飛び出し、時計のケースからストラップが外れます。図C。

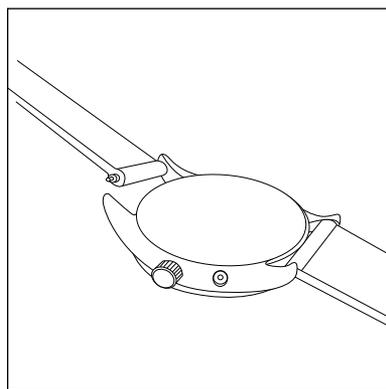
上記の手順を繰り返して、ストラップの残りの半分を取り外します。



図B



図C



図D

ストラップを取り付けるには:

**ご注意:** ストラップのバックルの端は、ケースの上部または12時側に取り付ける必要があります。

必要に応じて、ストラップ用の工具の尖った端を使用して、ストラップからピンを取り外し、新しいストラップの中心に正しく配置します。

1. 時計を傷つけないように、布または柔らかな表面の上に時計の面を下向きにして置きます。

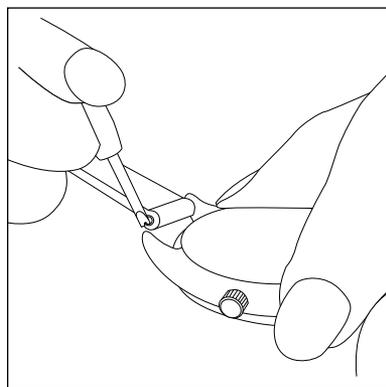
2. ストラップの半分を下にして、ピンの先端をラグの穴に挿入します。図D。

3. ストラップ用の工具の二股の端を使用してストラップの空いている端に軽い圧力を加え、バネ棒ピンをストラップの中央に向かって圧縮します。図E。

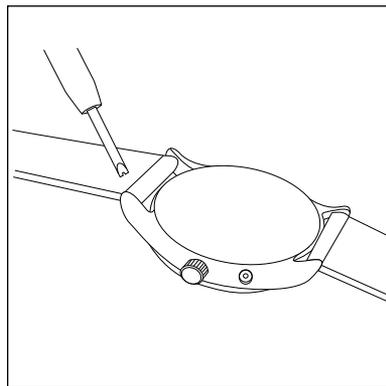
4. ストラップを2つのラグの間の位置に動かし、ゆっくりと圧力を開放して、残りのピンの先端をその側面のラグの穴に通します。図F。

5. ストラップにそっと引っ張って、バネ棒の両端がラグの穴に正しく固定されていることを確認します。

上記の手順を繰り返して、ストラップの残りの半分を取り付けます。



図E



図F

## アフターサービス

モバードの時計について点検や修理が必要な場合は、モバード正規サービスセンターまで時計をお持ちいただくか、郵送してください。世界各国の正規サービスセンターの最新リストは、[www.movado.com](http://www.movado.com)でご覧いただけます。

### 梱包と郵送についてのご注意

返送先の住所と電話番号をみれなく記載し、さらに時計に生じた問題および/または必要なサービスについての簡単な説明も明記してください。点検・修理を希望する項目をすべて列記してください。

時計は、衝撃から保護されるよう、クッション材を用いてしっかりと梱包し、頑丈な箱に入れてテープで密閉してください。時計のオリジナルのギフトボックスは発送に使用しないでください。

書留郵便を利用し、時計に再取得価額全体をカバーする保険をかけてください。

### アフターサービスのオンライン追跡

米国では、アフターサービスのためにMoonachie(ニュージャージー州)のモバードに直接時計を送付いただいたお客様には、個別のユーザーIDとパスワードを記した受領確認書をお送りいたします。ユーザーIDとパスワードを用いると、セキュリティが確保されている当社のインターネットサイト：<https://repairs.mgiservice.com/movado>を通じてオンラインで時計のアフターサービスについて承認・追跡することができます。

### 保証期間中のアフターサービス

MOVADO (モバード) の時計は、お買い上げ日より2年間にわたり限定保証を提供しております。保証サービスを受けるには、有効な購入証明書を提示する必要があります。詳細については、「保証について」をご覧ください。ご注意:モバードは、製品の故障または作動不良から偶発的あるいは結果的に生じるあらゆる損害について責任を負いません。

## 保証について

Movado (モバード) の腕時計はデザインが美しいだけでなく、正確で信頼性の高いパフォーマンスをお届けするために、上質な素材と部品を使って入念に制作されています。当社は販売する各 Movado (モバード) 腕時計に誇りをもっています。

### Movado (モバード) 限定保証

Movado (モバード) は、当社の時計をお買い上げのお客さま (オリジナル購入者) に向け、通常の使用方法下での材質または製造上の欠陥に対する保証をお買い上げ日より2年間にわたり提供しております。

本保証の対象となる欠陥に対する当社の責任は、欠陥のある時計を無料で修理または (Movado (モバード) の独自の裁量において) 交換することに限定されます。

本保証の対象外事項は、アナログ電池、ストラップ、ブレスレット、クリスタル、金メッキ、イオンプレーティング、PVD仕上げのほか、通常の使用・事故・誤った使用法による傷や損傷、Movado (モバード) の認定サービスセンター以外による改造・サービス・修理等に起因する損傷も保証の対象外となります。

本保証は、時計を Movado (モバード) 認定小売店で購入し、小売店の名前および Movado (モバード) ウォッチのスタイル番号、お買い上げ日が明記されている販売レシートまたはギフトレシートを購入証明書として提示しない場合は無効となります。

小売業者が提供する上記以外の保証は、全面的にその小売業者の責任となります。いかなる個人または会社にも、本保証の内容を変更する権限はありません。本保証は消費者特定の法的権利を付与するものです。国や州によっては、消費者に上記以外の法的権利が付与される場合もあります。ただし、法律で禁止されない範囲において、本限定保証は独占的であり、口頭、書面、法令の、明示的または暗示的 (商品性または特定の目的への適合性の保証を含むがそれらに限定されない) 他のすべての保証の代わりとなり、それらのすべては明示的に否認されます。

モバードの保証サービスについては、モバードの正規サービスセンターにお問い合わせください。最寄の正規サービスセンターを検索するには、<https://repairs.mgiservice.com/movado> にアクセスしてモバードのブランドのロゴをクリックして、「CREATE YOUR ACCOUNT」(アカウントの作成) ボックスのポップアップで右側にある「FIND A RETAILER OR WATCH REPAIR LOCATION」(小売店または時計修理センターの検索) ボタンをクリックします。今アクセスするには、[ここをクリックしてください](#)。

ご注意: モバード スマートウォッチの保証については、[ここをクリックしてください](#)。

## モバード正規サービスセンター

お住まいのグローバル地域の認定サービスセンターを探すには、<https://repairs.mgiservice.com/movado/>にアクセスして、Movado ブランドのロゴをクリックして、画面の左側にある「FIND AN AUTHORIZED WATCH REPAIR LOCATION」(認定時計修理センターを検索) をクリックしてください。今すぐアクセスするには、[ここをクリックしてください](#)。